

七 嘉慶貳拾年より御病中日々記并

乾隆六拾年御四代伊江親方

御先室御病中御看病日記

嘉慶二十年 乙亥
八月中

一 十日朝さハシニ付、くかし相用候付、快罷成候事、

一 けをぬし○○○

一 こかし四度○○○○

一 清暑益氣湯、始而相用候事、

一 羊汁○○

一 今日者朝々晩迄さハしをらひ候体無之、

此中与者拔群相替、上分之通与いつれも

喜悅いたし、

一 酉過時分、丸薬一手相用候事、

一日、

咸豊拾壹年辛酉十月写

嘉慶貳拾年与里同□分御病中日々記并

御三代伊江親方日々記共七冊

乾隆六拾年卯御四代伊江親方

御先室御病中御看病日記

川平殿内

嘉慶二十年 乙亥

八月中

一 十日、朝さハシニ付、くかし相用候付、快罷成候事、

一 汁懸めし○○○

一 こかし四度○○○○

一 清暑益氣湯、始而相用候事、

一 羊汁○○

一 今日者朝々晩迄さハしをらひ候体無之、

此中与者拔群相替、上分之通与いつれも

喜悅いたし、

一 酉過時分、丸薬一手相用候事、

一日、

一 汁懸めし 〇四ツ時分 〇八ツ頭時分 〇七ツ時分

一 羊汁 〇朝 〇

一 煮薬四ツ時分相用候事、

一 五ツ時分大便いたし候事、

一 十二日、

一 汁懸めし 〇四ツ時分 〇八ツ時分

一 羊汁 〇 〇

一 丸薬三度ニ告勿

一 こかし 〇〇〇

一 晩方むねさハシ候処、こかし給候付、快相成候事、

一 十三日、

一 こかし 〇朝 〇四ツ時分 〇 〇

一 汁懸めし 〇朝 〇朝めし四ツ過時分 〇八ツ時分 〇七ツ時分

一 朝むねさハシ候気有之候処、右両品給候付、快相成候事、

一 奥浜真つ(与カ)に申候者、先年自分もむね之

さハシ候病相煩及難儀候処、後ニ灸いたし

候而快為相成由承候付、是者一段宜可有之□

いづれも相談之上、今日九ツ頭時分後ニ真つかにニ

つふ二ツ□□せ、一ツ二十五ツ、灸いたし候事、

一 羊汁 〇 〇

一 汁懸めし 〇四ツ時分 〇八ツ頭時分 〇七ツ時分

一 羊汁 〇朝 〇

一 煮薬四ツ時分相用候事、

一 五ツ時分大便いたし候事、

一 十二日、

一 汁懸めし 〇四ツ時分 〇八ツ時分

一 羊汁 〇 〇

一 丸薬三度ニ告勿

一 こかし 〇〇〇

一 晩方むねさハシ候処、こかし給候付、快相成候事、

一 十三日、

一 こかし 〇朝 〇四ツ時分 〇 〇

一 汁懸めし 〇朝 〇朝めし四ツ過時分 〇八ツ時分 〇七ツ時分

一 朝むねさハシ候気有之候処、右両品給候付、快相成候事、

一 奥浜真つ(与カ)に申候者、先年自分もむね之

さハシ候病相煩及難儀候処、後ニ灸いたし

候而快為相成由承候付、是者一段宜可有之□

いづれも相談之上、今日九ツ頭時分後ニ真つかにニ

つふ二ツ□□せ、一ツ二十五ツ、灸いたし候事、

一 羊汁 〇 〇

今日大便いたし候事

十四日

一 一こかし 〇朝 〇五ツ時分 〇四ツ時分 〇八ツ頭時分

一 一羊汁 〇朝 〇四ツ時分 〇七ツ頭時分

一 一丸薬壹匁五分之内、〇朝 七分五厘相用候事、

一 一汁懸めし 〇五ツ時分 〇八ツ頭時分 〇七ツ頭時分 〇四時分

一 一八ツ過時分、大便いたし候事、

十五日

一 一こかし 〇朝 〇朝 さハし有之、三度続而給候事、

一 一汁懸めし 〇五ツ時分 〇四ツ時分、朝めし給候事、

一 一羊汁 〇〇

一 一申年親方上国之時、さハし候病有之、

永松筑登之親雲上る、右体さハし候病之時者不断

あふら汁給候得者、快罷成候由被申聞ニ付、不断

相用候付、快罷成候例有之候間、私も不断あふら

汁相用候様承、尤之儀与存、今日るあふら汁

相用候事、

一 一高里親雲上被罷出候、豊村・栗国無抛病家

参り不申候而不叶由ニ而、暇乞、

一 一大便一度

一 一昨日、丸薬壹手五丸相用候処、多過候哉

夜も寝不申難儀いたし候付、今日者五分相用

候事候事候儀候事候事今日者五分相用

作事

一十六日

- 一 一こかし ○朝少々給候事 ○朝 ○朝給候事 ○酉頭時分
- 一 一汁懸めし ○朝少々給候事 ○四ツ頭時分、一椀八分ふと給候事 ○九ツ頭時分、少々給候事
- 一 但、夜めし五ツ時分給候事、
- 一 一羊汁 ○朝 ○酉頭時分汁少々
- 一 一あふら汁一度給候事、
- 一 一四ツ過時分、丸薬五分相用候事、
- 一 但、夜入候而同五分相用候事、
- 一 一四ツ頭時分、大便いたし候事、
- 一 但、少々平日るやハラかに有之候事、

一十七日

- 一 一こかし ○朝 ○朝 ○朝 ○四ツ過時分 ○八ツ頭時分 ○七ツ時分少々
- 一 一汁懸めし ○朝少々給候 ○朝めしわん之八分給候 ○八ツ時分わん之七分
- 一 一羊汁 ○朝 ○七ツ頭時分
- 一 一あふら汁
- 一 今日者朝を昼時分までさハし候付、気分不宜候処、七ツ時分親方のみそ汁手つから持参りくり候付、則給候処、気分快罷成候事、
- 一 今日も丸薬壱手之内五分相用候処、何様之儀ニ而候哉、さハし候而不宜ニ付、今五分者無用いたし候事、

候事

一十六日、

- 一 一こかし ○朝少々給候事 ○朝 ○朝給候事 ○酉頭時分
- 一 一汁懸めし ○朝少々給候事 ○四ツ頭時分、一椀八分ふと給候事 ○九ツ頭時分、少々給候事
- 一 但、夜めし五ツ時分給候事、
- 一 一羊汁 ○朝 ○酉頭時分汁少々
- 一 一あふら汁一度給候事、
- 一 一四ツ過時分、丸薬五分相用候事、
- 一 但、夜入候而同五分相用候事、
- 一 一四ツ頭時分、大便いたし候事、
- 一 但、少々平日るやハラかに有之候事、

一十七日、

- 一 一こかし ○朝 ○朝 ○朝 ○四ツ過時分 ○八ツ頭時分 ○七ツ時分少々
- 一 一汁懸めし ○朝少々給候 ○朝めしわん之八分給候 ○八ツ時分わん之七分
- 一 一羊汁 ○朝 ○七ツ頭時分
- 一 一あふら汁
- 一 今日者朝を昼時分までさハし候付、気分不宜候処、七ツ時分親方のみそ汁手つから持参りくり候付、則給候処、気分快罷成候事、
- 一 今日も丸薬壱手之内五分相用候処、何様之儀ニ而候哉、さハし候而不宜ニ付、今五分者無用いたし候事、

十八日

一十七日申時より申刻に寝たるを九ツ時分目覚候と

さしハし候付、こかしみそ汁相用候付、又寝入

六ツ迄得与寝候事

一昨夜者得与寝候事

一こかし ○未朝 ○五ツ時前 ○四ツ頭時分

一汁懸めし ○五ツ時分、中茶わん半分ふと ○四ツ過時分、わん八分程給候事

一羊汁 ○七ツ頭時分、わん八分ふと ○夜入時分、一わん給候事

一四ツ過時分大便いたし候処、平日之通宜候、

一此程食事不相進、平日相好候好物も一向

給不申候処、今日此程薬用ニ相用候羊之

汁も味好江罷成、唐いも平日好物ニ而候処、是又

一口も不罷成候処、いも、二切給、夫を以相考候処、

昨日者煎薬も食事相進候配済之由

候得者、好的当いたしたる積ニ而、いしや三人江も

厚御礼申述候事、

一右ニ付御礼之心入ニ而、明後廿日耳もち御

馳走いたし度候間、其御心得ニ而御入来被給候由、

御約束いたし候事、

一十九日、

一昨夜者四ツ時分を寝、七ツ時分を目覚候付、くかし

みそ汁杯給候而、又曉迄寝候事、

一昨夜者申時分より寝、七ツ時分目覚候候、くかし

みそ汁杯給候而、又曉迄寝候事、

一十八日、

一十七日、夜四ツ前を寝候而、九ツ時分目覚候

さハし候付、こかしみそ汁相用候付、又寝入

六ツ迄得与寝候事、

一昨夜者得与寝候事、

一こかし ○未朝 ○五ツ時前 ○四ツ頭時分

一汁懸めし ○五ツ時分、中茶わん半分ふと ○四ツ過時分、わん八分程給候事

○七ツ頭時分、わん八分ふと ○夜入時分、一わん給候事

一羊汁 ○

一四ツ過時分大便いたし候処、平日之通宜候、

一此程食事不相進、平日相好候好物も一向

給不申候処、今日此程薬用ニ相用候羊之

汁も味好江罷成、唐いも平日好物ニ而候処、是又

一口も不罷成候処、いも、二切給、夫を以相考候処、

昨日者煎薬も食事相進候配済之由

候得者、好的当いたしたる積ニ而、いしや三人江も

厚御礼申述候事、

一右ニ付御礼之心入ニ而、明後廿日耳もち御

馳走いたし度候間、其御心得ニ而御入来被給候由、

御約束いたし候事、

一十九日、

一昨夜者四ツ時分を寝、七ツ時分を目覚候付、くかし

みそ汁杯給候而、又曉迄寝候事、

一 一 〇 朝少々 〇 一 椀 〇 八ツ過時分、一わん 〇 七ツ頭時分、一椀
 一 汁懸めし 〇 朝わん七分ふと 〇 朝めし椀七分 〇 九ツ過、椀六分
 一 羊汁 〇 朝
 一 今日者むねにつかい差発、不気色有之、
 七ツ時分かしまそ汁相応ニ給候付、気分
 快罷成候事、
 一 廿日、
 一 夜前者四ツ時分〇八ツ時分迄寝、暫目覚候処、
 追付寝入暁迄寝候事、
 但、ふたきも簡草之くき煮調相用候得者能
 候由承、昨日相用候処、夫故ニ而候哉克寝候事、
 一 こかし 〇 朝相応ニ給候事 〇 四ツ頭時分、椀半分給候事
 〇 八ツ時分 〇 酉過時分、茶椀七分
 一 汁懸めし 〇 朝五ツ時分、七分ふと 〇 九ツ過時分、八分ふと給候事
 〇 七ツ時分、七分ふと給候 〇 夜五ツ時分、七分ふと夜めし
 一 羊汁 〇 四ツ時分、一椀給候事
 一 ふたきも簡草之吸物相用候事、
 一 今朝大便いたし候処、此中〇些やハラカに有之
 候間、食物其心得可仕事、
 一 麦あめ試ニ両度給候処、癩気快様ニ有之候得共、
 いまた然与取窮無之候事、
 一 八ツ過時分いしや被罷出、看脈被致候時分、むね
 之つかい差発、別而不気色有之候処、追々快相成
 候事、
 一 一 〇 朝少々 〇 一 椀 〇 八ツ過時分、一わん 〇 七ツ頭時分、一椀
 一 汁懸めし 〇 朝わん七分ふと 〇 朝めし椀七分 〇 九ツ過、椀六分
 一 羊汁 〇 朝
 一 今日者むねにつかい差発、不気色有之、
 七ツ時分かしまそ汁相応ニ給候付、気分
 快罷成候事、
 一 廿日、
 一 夜前者四ツ時分〇八ツ時分迄寝、暫目覚候処、
 追付寝入暁迄寝候事、
 但、ふたきも簡草之くき煮調相用候得者能
 候由承、昨日相用候処、夫故ニ而候哉克寝候事、
 一 こかし 〇 朝相応ニ給候事 〇 四ツ頭時分、椀半分給候事
 〇 八ツ時分 〇 酉過時分、茶椀七分
 一 汁懸めし 〇 朝五ツ時分、七分ふと 〇 九ツ過時分、八分ふと給候事
 〇 七ツ時分、七分ふと給候 〇 夜五ツ時分、七分ふと夜めし
 一 羊汁 〇 四ツ時分、一椀給候事
 一 ふたきも簡草之吸物相用候事、
 一 今朝大便いたし候処、此中〇些やハラカに有之
 候間、食物其心得可仕事、
 一 麦あめ試ニ両度給候処、癩気快様ニ有之候得共、
 いまた然与取窮無之候事、
 一 八ツ過時分いしや被罷出、看脈被致候時分、むね
 之つかい差発、別而不気色有之候処、追々快相成
 候事、

いしや三人・宜寿次親方・仲村親方御出會、耳もち御馳走いたし候事、

一廿一日

一夜前者能寝候由いづれも申出、気分も宜喜悦いたし候、

一こかし ○早朝相応給候 ○五ツ時分

○七ツ時分 ○入相時分

一汁懸めし ○五ツ時分、わん七分ふと ○九ツ頭時分、朝めし腕八分ふと

一羊汁 ○昼間 ○夜めし汁懸不申給候事

一丸薬壹手之内五分早朝相用候事、

一七ツ過時分、むねさハし出、気分も猶又昨日之通、気分あしく可罷成与世話存候処、親方みそ汁

手つから持来くり候付、則給候処、気分快罷成候事、但、右通去十七日・今日及両度親方手つから持来

くり候みそ汁二而、さハし快相成候付、以後も為心得相記置候事、

一七ツ過時分大便いたし候処、昨日者些やハラかに有之候処、今日者平日之通宜罷成候事、

一廿二日

一夜前者四ツ時分八ツ時分迄能寝候処、八ツ時分者しはらく目覚候付、こかし給候付、又曉迄寝候事、

一こかし ○五ツ頭時分 ○五ツ時分 ○八ツ頭時分

○七ツ過時分

めし ○四ツ時分、八分ふと ○八ツ時分、汁懸七分ふと

いしや三人・宜寿次親方・仲村親方御出會、耳もち御馳走いたし候事、

一夜前者能寝候由いづれも申出、気分も宜喜悦いたし候、

一こかし ○早朝相応給候 ○五ツ時分

○七ツ時分 ○入相時分

一汁懸めし ○五ツ時分、わん七分ふと ○九ツ頭時分、朝めし腕八分ふと

一 羊汁 ○八ツ頭時分

一 丸葉五分酉時分

一 四ツ時分いしや三人被罷出、看脈被致候処、脈者宜敷相通候由被申候付、私申候者、此咲氣最早五十日ニも罷成候得者、さか立ニ而めしを相進申替候処、未食物之進無之、内熱有之右通候哉与存候、内熱相さめ候配濟被致候而者何様候哉与申候付、当分之配濟弥内熱相さめ、食進之向ニいたし置候間、弥此煎薬ニ而者可宜与存候由、豊村親雲上被申候、

一 八ツ時分大便いたし候処、平日之通宜く但、七ツ時分猶又大便いたし候処、少やわからかに有之候事、

一 七ツ時分合候大候しつゝ少やわからかに有之候事

一 廿二日

一 一 煎薬をさとりしり度ふりつゝも及世話候汁をとり一椀給候付、心静ニ成寝申候事、

一 一 一 〇五ツ頭時分 〇五ツ時分 〇四ツ頭

一 一 一 〇四ツ頭時分 〇九ツ頭時分

一 一 一 〇五ツ頭時分 〇四時分、朝めし 〇七ツ時分、六分

一 一 一 〇九ツ頭時分、七分程 〇八ツ時分、六分

一 一 一 此汁者煎薬ニ半夏相用申度候処、羊と半夏ハさらいニ而、今日者ふた相用、羊者無用可仕由、いしや被申候事、

一 一 一 一 丸葉 四ツ時分五分相用候

一 一 一 一朝大便いたし候処、今日者やはらかに有之候事、但、四ツ後ニも大便いたし候処、朝者少々かたまり候事、

一 廿三日

一 一 一 一夜前者さハシニ付寝不申、いつれも及世話候処、汁懸めし一椀給候付、心静ニ成寝申候事、

一 一 一 一 〇五ツ頭時分 〇五ツ時分 〇四ツ頭

一 一 一 〇四ツ頭時分 〇九ツ頭時分

一 一 一 〇五ツ頭時分 〇四時分、朝めし 〇七ツ時分、六分

一 一 一 〇九ツ頭時分、七分程 〇八ツ時分、六分

一 一 一 此汁者煎薬ニ半夏相用申度候処、羊と半夏ハさらいニ而、今日者ふた相用、羊者無用可仕由、いしや被申候事、

一 一 一 一 丸葉 四ツ時分五分相用候

一 一 一 一朝大便いたし候処、今日者やはらかに有之候事、但、四ツ後ニも大便いたし候処、朝者少々かたまり候事、

一 饒波按司加那志病氣御見廻御來駕被下候付、
女子共罷出緩々御物かたり被成、忝仕合奉存
候事、

り

一 いも粉餅一重御持參被下候事、

一 御手引一之御夜飯差上候事、

一 廿四日、

一 夜前者得与寝候事、

一 一こかし

○朝早少々給候事 ○又五ツ時分、六分程給候事

○同時、七分程給候事 ○八ツ過時分、五分程

一 汁懸めし

○早朝少々給候事 ○五ツ頭時分、六分程

○四ツ頭時分、朝めし八分ふと ○八ツ過時分、五分ふと

一 今朝大便いたし候処、昨日同然や八らかく有之候事、

但、八ツ過時分猶又大便いたし候処、朝同然相見得
候事、

一 七ツ過時分猶又大便いたし候処、少々かたく相見得
候事、

一 酉頭時分猶又大便いたし候処、通不申候事、

一 今日夜中、大便六度いたし候事、

一 但、右之内四度下シ不申、二度少々完下シ
候事、

一 一ヶ月程中、大便六度いたし候事、

一 但、右之内四度下シ不申、二度少々完下シ
候事、

一 饒波按司加那志病氣御見廻御來駕被下候付、
女子共罷出緩々御物かたり被成、忝仕合奉存
候事、

候事、

一 いも粉餅一重御持參被下候事、

一 御手引一之御夜飯差上候事、

一 廿四日、

一 夜前者得与寝候事、

一 一こかし

○朝早少々給候事 ○又五ツ時分、六分程給候事

○同時、七分程給候事 ○八ツ過時分、五分程

一 汁懸めし

○早朝少々給候事 ○五ツ頭時分、六分程

○四ツ頭時分、朝めし八分ふと ○八ツ過時分、五分ふと

一 今朝大便いたし候処、昨日同然や八らかく有之候事、

但、八ツ過時分猶又大便いたし候処、朝同然相見得
候事、

一 七ツ過時分猶又大便いたし候処、少々かたく相見得
候事、

一 酉頭時分猶又大便いたし候処、通不申候事、

一 今日夜中、大便六度いたし候事、

一 但、右之内四度下シ不申、二度少々完下シ
候事、

一 一ヶ月程中、大便六度いたし候事、

一 但、右之内四度下シ不申、二度少々完下シ
候事、

本日

一 兼前も六度下シ候付、然与寝不申候、

一 一かし

○六ツ頭かまと持来くり候 ○早朝真生石同

○四ツ時分五分程 ○八ツ時分五分程

一 汁懸めし

○四ツ頭時分八分程給候事 ○九ツ頭七分程

○七ツ頭時分七分程 ○酉頭時分六分程

一 大便

○四ツ頭一度 ○七ツ頭時分一度、下シハ無之候 ○九ツ頭時分少々

○七ツ時分一度少々下シ有之候 ○酉頭時分少々下有之候

一 此内者下シ有之候付、神教丸相用可宜与申方

有之、差障不申候哉与、粟国里之子親雲上江相談いたし

候処、弥相用可然与申候付、相用候事、

一 廿六日

一 兼前も六度下シ候付、然与寝不申候、

一 一かし

○早朝五分程 ○五ツ頭時分四分程

一 汁懸めし

○四ツ頭時分一椀七分程 ○九ツ頭時分一椀八分程朝めし

○七ツ過時分六分ふと

一 大便

一 廿五日、

一 夜前者六度下シ候付、然与寝不申候、

一 一かし

○六ツ頭かまと持来くり候 ○早朝真生石同

○四ツ時分五分程 ○八ツ時分五分程

一 汁懸めし

○四ツ頭時分八分程給候事 ○九ツ頭七分程

○七ツ頭時分七分程 ○酉頭時分六分程

一 大便

○四ツ頭一度 ○七ツ頭時分一度、下シハ無之候 ○九ツ頭時分少々

○七ツ時分一度少々下シ有之候 ○酉頭時分少々下有之候

一 此内者下シ有之候付、神教丸相用可宜与申方

有之、差障不申候哉与、粟国里之子親雲上江相談いたし

候処、弥相用可然与申候付、相用候事、

一 廿六日、

一 夜前も五度下シ候付、然与寝不申候、

一 一かし

○早朝五分程 ○五ツ頭時分四分程

一 汁懸めし

○四ツ頭時分一椀七分程 ○九ツ頭時分一椀八分程朝めし

○七ツ過時分六分ふと

一 大便

○今朝(一)少下シ有之候 ○九ツ頭前少も、下シ無之
 ○九ツ過時分少々下シ有之候 ○七ツ頭時分少々、下シ有之
 ○七ツ過時分少々、下有之候
 是者、大便かたまり候付、いづれも申候付相用候、
 一きひ葛

○九ツ時分五分程 ○六ツ前一度五分程
 ○七ツ時分六分程

一 廿七日

夜前も四度下シ候得共、其間ニ克寝候由皆々
 申候、

一 こかし

○こかし五分ふと ○八ツ時分、五分程

一 汁懸めし

○今朝、六分程 ○九ツ頭時分、朝めし七分程

一 大便

○今朝一度下し少々有之候 ○五ツ頭時分一度、右同断
 ○九ツ時分一度下し、ヤハラかに二尺程

但、是迄三而下し相止、今日夜中も下し
 不申候、七ツ時分大便所江参り候得共、下し

無之候、

一 きひ葛

○一度、未明、五分ふと ○五ツ頭時分、五分ふと

一 神教丸

一 神教丸

○おけ合分候

一 食物を食し時中腕に灸いたし候而宜由いづれも申候付、いしや之衆江相談を以、夜入候而中腕又ハ其下一寸之穴灸いたし候、但、九ツツ、灸いたし候事、

一 廿八日

去廿五日ハ夜中二五六度程下し有之、然与寝不申候処、夜前者一度も下し無之、得与寝申候付、気分も宜喜悅いたし候事、

一 二か

○おけ合分候
○おけ合分候と候事、○もつる所合分候と

○二ツ時合分候

一 けを分

○おけ合分候七分ふと ○号はけ分りし方分と

○八ツ頭時分、五分ふと ○七ツ頭時分、七分程

一 大便

○今日九ツ時分大便所江参り候処、下し無之候、

一 廿九日

夜前者夜半比迄者能寝申候処、其比目覚さハし差発、寝不申候へ共、今日者何そ不気色二者無之候、

一 二か
今日者さハし差発候心地二而、左之通少々、度々相用

○五ツ時分一度

一 食物之進無之時者、中腕に灸いたし候而宜由いづれも申候付、いしや之衆江相談を以、夜入候而中腕又ハ其下一寸之穴灸いたし候、但、九ツツ、灸いたし候事、

一 廿八日

去廿五日ハ夜中二五六度程下し有之、然与寝不申候処、夜前者一度も下し無之、得与寝申候付、気分も宜喜悅いたし候事、

一 二か

○五ツ時分、七分ふと給候事 ○九ツ過時分、五分ふと

○西頭時分六分程

一 汁懸めし

○五ツ時分、腕七分ふと ○四ツ過時分、わん六分ふと

○八ツ頭時分、五分ふと ○七ツ頭時分、七分程

一 大便

○今日九ツ時分大便所江参り候処、下し無之候、

一 廿九日

夜前者夜半比迄者能寝申候処、其比目覚さハし差発、寝不申候へ共、今日者何そ不気色二者無之候、

一 二か
今日者さハし差発候心地二而、左之通少々、度々相用

○五ツ時分給候事 ○四ツ時分、少々五口はかり

○九ツ時分、五口はかり ○八ツ頭時分、五口 ○七ツ頭時分、七口

一 汁懸めし

○五ツ時分、椀八分程 ○四ツ時分、朝めし七分程

○酉頭時分、昼休六分 ○

一 大便之儀、此程下候処、一昨廿七日九ツ時分迄相止、

其後一向催無之、今日催有之候付、用事所江

参り候処、大便少も下し不申候、

一 蕎麦切者食進之物与兼而承、いしや衆江も

相談之上、一椀半給候事、

一 昼時分者さハし有之、気分不宜候処、丸葉

五分相用候付、快相成候事、

一 廿日、

夜前者得与寝候付、今日者気分宜有之候事、

一 一こかし

○五ツ頭時分、七分程 ○四ツ時分、五口

○八ツ時分、七口 湯なますかて物

一 ぬし汁

○五ツ時分、椀七分ふと ○朝めし八分程、九ツ時分

○酉頭時分、昼めし給候事 ○夜めし

一 五ツ時分丸葉五分相用候事、

一 今日者むね之さハしハ無之候得共、むねつかひ

○五ツ時分給候事 ○四ツ時分、少々五口はかり

○九ツ時分、五口はかり ○八ツ頭時分、五口 ○七ツ頭時分、七口

一 汁懸めし

○五ツ時分、椀八分程 ○四ツ時分、朝めし七分程

○酉頭時分、昼休六分 ○

一 大便之儀、此程下候処、一昨廿七日九ツ時分迄相止、

其後一向催無之、今日催有之候付、用事所江

参り候処、大便少も下し不申候、

一 蕎麦切者食進之物与兼而承、いしや衆江も

相談之上、一椀半給候事、

一 昼時分者さハし有之、気分不宜候処、丸葉

五分相用候付、快相成候事、

一 廿日、

夜前者得与寝候付、今日者気分宜有之候事、

一 一こかし

○五ツ頭時分、七分程 ○四ツ時分、五口

○八ツ時分、七口 湯なますかて物

一 ぬし汁

○五ツ時分、椀七分ふと ○朝めし八分程、九ツ時分

○酉頭時分、昼めし給候事 ○夜めし

一 五ツ時分丸葉五分相用候事、

一 今日者むね之さハしハ無之候得共、むねつかひ

收^{ククルミ}之^ニ候^ニ付、為^シ試^ス四^ツ頭^時分、唐^萬金^丹湯^ニ而

解、一^椀相^用候^事、
但、八^ツ頭^時分^ニも猶^又一^椀相^用候^事、
右^萬金^丹ニ^而宜^候哉、別^而癩^氣相^治氣^分
相^勝候、

一 朝^めし^之時^湯な^ます^喰候^処、是^又つ^かひ

可^宜哉^与存^候事、

一 七^ツ時^分大^便少^々相^下し^候処、別^而堅^く少^々

相^通候、
七^ツ過^時分、味^者平^日ニ^何そ^相替^不申^候、
一 今^日も^蕎麦^切一^椀半^給候^事、

九^月中

一 朔^日

一 一^こか^し

○ 早^朝薄^茶々^碗七^分ふ^と ○ 四^ツ時^分、こ^かし^三口^ニ湯^なま^す給^候

○ 八^ツ時^分七^分ふ^と ○ 四^頭時^分、四^分ふ^と

一 汁^懸め^し

○ 五^ツ時^分、椀^七分^程 ○ 九^ツ頭^時分、七^分程

○ 七^ツ頭^時分、六^分ふ^と ○ 夜^五ツ^時分、八^分程

一 用^事所^江参^り候^処、大^便下^し不^申候、

一 那^覇我^謝里^之子^親雲^上る^昨日^牛肉^到来^ニ付、

吸^物ニ^而給^候事、

快^無之^候付、為^シ試^ス四^ツ頭^時分、唐^萬金^丹湯^ニ而

解、一^椀相^用候^事、

但、八^ツ頭^時分^ニも猶^又一^椀相^用候^事、

右^萬金^丹ニ^而宜^候哉、別^而癩^氣相^治氣^分
相^勝候、

一 朝^めし^之時^湯な^ます^喰候^処、是^又つ^かひ

可^宜哉^与存^候事、

一 七^ツ時^分大^便少^々相^下し^候処、別^而堅^く少^々

相^通候、
七^ツ過^時分、味^者平^日ニ^何そ^相替^不申^候、
一 今^日も^蕎麦^切一^椀半^給候^事、

九^月中

一 朔^日

一 一^こか^し

○ 早^朝薄^茶々^碗七^分ふ^と ○ 四^ツ時^分、こ^かし^三口^ニ湯^なま^す給^候

○ 八^ツ時^分七^分ふ^と ○ 四^頭時^分、四^分ふ^と

一 汁^懸め^し

○ 五^ツ時^分、椀^七分^程 ○ 九^ツ頭^時分、七^分程

○ 七^ツ頭^時分、六^分ふ^と ○ 夜^五ツ^時分、八^分程

一 用^事所^江参^り候^処、大^便下^し不^申候、

一 那^覇我^謝里^之子^親雲^上る^昨日^牛肉^到来^ニ付、

吸^物ニ^而給^候事、

但、いしや之衆江相談いたし候処、弥給候而宜由
被申候付、右通也、

一 玉城按司十三年成古米九升わらを実
七房被下、御厚志忝次第三奉存候事、

一 丸薬

○五ツ時分、五分 ○入相時分、五分

一 前薬九ツ過時分、一度一はん

一 今日ハ朝九ツ時分迄ハ氣分相勝候処、九ツ過
酉過迄ハ少々氣分悪敷罷成候処、入相時分猶又

丸薬五分・こかし四分相給候処、早速氣分
相勝候事、

一二日、

一 一こかし

○早朝、四分程 ○四ツ時分、六分ふと

○八ツ時分、四分ふと ○酉頭時分、四分程

一 一めし

○五ツ過時分、玉城按司被下候米、めしたち汁懸二而
給候事、

○九ツ頭時分、常之めし汁懸二而七分後二も立、

○七ツ時分、七分ふと ○夜入候而七分程

一 丸薬五分相用候事、

一 四ツ時分又々瘧氣差おこり候付、猶又丸薬

但、いしや之衆江相談いたし候処、弥給候而宜由
被申候付、右通也、

一 玉城按司十三年成古米九升わらを実
七房被下、御厚志忝次第三奉存候事、

一 丸薬

○五ツ時分、五分 ○入相時分、五分

一 前薬九ツ過時分、一度一はん

一 今日ハ朝九ツ時分迄ハ氣分相勝候処、九ツ過
酉過迄ハ少々氣分悪敷罷成候処、入相時分猶又

丸薬五分・こかし四分相給候処、早速氣分
相勝候事、

一二日、

一 一こかし

○早朝、四分程 ○四ツ時分、六分ふと

○八ツ時分、四分ふと ○酉頭時分、四分程

一 一めし

○五ツ過時分、玉城按司被下候米、めしたち汁懸二而
給候事、

○九ツ頭時分、常之めし汁懸二而七分後二も立、

○七ツ時分、七分ふと ○夜入候而七分程

一 丸薬五分相用候事、

一 四ツ時分又々瘧氣差おこり候付、猶又丸薬

一三日

夜前々此中之寢座ニ得与寢候付、気分宜
喜悦いたし候事、

一こかし

○五ツ時分、六分程 ○四ツ時分、八分程

一汁懸めし

○五ツ時分、五分程 ○五ツ時分、夜めし八分程

○七ツ時、五分程 ○五ツ時分、夜めし八分程

一丸薬

五ツ頭時分、五分相用候事、

一開鐘時分大便いたし候事、

但、些やわらかに相応三下し候、

おかけをり一枕寝る候候なり

一 大便相催、用事所江参り候処、今日者

こハち大便相応ニ相下し候事、

一 私病氣之儀、いしや之衆段々被入念候付、

今程快相成候処、いまた食事之進無之

込り入候処、長々煎薬相用候得者食事ハ相進不申由、

申方も有之候付、試ニ兩三日者丸薬相用、

煎薬者差扣候方可然由、いれも相談いたし、

いしや之衆右之段相談いたし候処、弥兩

三日者丸薬相用、煎薬者差扣可致由被申

候付、今日者丸薬相用、煎薬者差扣候事、

二日者丸薬相用、煎薬者差扣候事、

いしや之衆右之段相談いたし候処、弥兩

三日者丸薬相用、煎薬者差扣可致由被申

候付、今日者丸薬相用、煎薬者差扣候事、

二日者丸薬相用、煎薬者差扣候事、

いしや之衆右之段相談いたし候処、弥兩

三日者丸薬相用、煎薬者差扣可致由被申

一 今朝も大便いたし候付、二三日者大便相止
 可申与存候処、今日も大通嚙、昨日牛之汁
 給候付、今日も下し候半与存候事、
 一 九ツ時分、つかい差起候付、為試丸葉五分・こかし
 一 碗給候事、
 但、右相用候付、半時はかり々ハ快罷成候間、
 以後も其心得可仕候事、

錢貳百貫文

右者、今般私病氣ニ付而者彼是物入茂可
 有之、且数十日相煩根氣も相へり為申
 筈候間、保養ニ相成候様、食事等少々入念
 不申候而不叶筈候付、旁物入之筈ニ而、乍
 輕少見次いたし候間、無辞退致笑納度
 候、以上、

九月三日
 朝睦
 真鶴金

一四日

夜前者然与寝不申様ニ覚候処、側之者共江
 相尋候へ者、能寝為申由申候、
 一 二かし

○五ツ頭時分、五口 ○九ツ頭時分、五分ふと ○酉過時分、三分程

一 けをり

○四ツ時分、朝めし椀九分程 ○七ツ頭時分、七分程

○夜めし五ツ前九分ふと

一 九葉五分

五ツ頭時分 九ツ頭時分

同五分

一 二か

夜前者四ツ前を寝候付、八ツ時分二者目覚候処、
癩氣差起さハし候付、寝不申候付、こかし・
みそ汁杯給候付、六ツ時分迄寝候事、

一 けをり

○朝めし椀九分程給候事 ○七ツ時分、昼めし八分ふと

○夜めし七分程、五ツ過 九ツ時分癩起候付

一 けをり

○朝めし椀九分程給候事 ○七ツ時分、昼めし八分ふと

○夜めし七分程、五ツ過 九ツ時分癩起候付

一 九葉五分

同五分

一 四ツ時分大便いたし候処、平日之通宜有之候事、

一六日、

一 二か

○朝めし椀九分程給候事 ○七ツ時分、昼めし八分ふと

○夜めし七分程、五ツ過 九ツ時分癩起候付

○朝めし椀九分程給候事 ○七ツ時分、昼めし八分ふと

一 けをり

一 汁懸めし

○四ツ時分、朝めし椀九分程 ○七ツ頭時分、七分程

○夜めし五ツ前九分ふと

五ツ頭時分 九ツ頭時分

同五分

一 五日、

夜前者四ツ前を寝候付、八ツ時分二者目覚候処、

癩氣差起さハし候付、寝不申候付、こかし・

みそ汁杯給候付、六ツ時分迄寝候事、

一 二か

○五ツ頭時分、七分程 ○五ツ時分、五口

○九ツ時分、五口 但、つかい起り候付

一 汁懸めし

○朝めし椀九分程給候事 ○七ツ時分、昼めし八分ふと

○夜めし七分程、五ツ過 九ツ時分癩起候付

五ツ頭時分 九ツ頭時分

同五分

一 四ツ時分大便いたし候処、平日之通宜有之候事、

一六日、

一 二か

○朝めし椀九分程給候事 ○七ツ時分、昼めし八分ふと

○夜めし七分程、五ツ過 九ツ時分癩起候付

○朝めし椀九分程給候事 ○七ツ時分、昼めし八分ふと

一 汁懸めし

○料汁分合程 ○早付分給りー六分程

○古付合まりー古程 ○更をまりー古

一 名薬六分

一 同六分

一 艾のみそ汁別而妙薬之由、親方より段々承趣

有之、両度相用候事、

一 四ツ頭時分、大便平日之通下し候事、

一 一ひる之吸物給候事、

但根氣補二者妙薬二而、親方下知を以かめ煮二而
差出給候事、

一 七日

○夜前者西之座敷江開鐘比迄目覚不申、

得与寝候付、今日者氣分宜喜悅いたし

候事、

一 二か

○未明二五口はかり給候事 ○四ツ頭時分五分程

○八ツ頭時分五分程

一 汁懸めし

○朝めし八分程、四ツ時分 ○八ツ過時分、昼めし六分ふと
(主男)

○占メ時分夜めし八分程

一 蕎麦切二椀給候事、

一 今晩六ツ時分大便相催候付、用事所江参り
候処、少々相下し候事、 但、大便者平日之通也、

○五ツ時分、四分程 ○四ツ時分、朝めし五分程

○七ツ時分、昼めし七分程 ○夜入候而夜めし七分
五ツ時分 四ツ過時分

一 丸薬五分 一同五分

一 艾のみそ汁別而妙薬之由、親方より段々承趣

有之、両度相用候事、

一 四ツ頭時分、大便平日之通下し候事、

一 あひる之吸物給候事、

但、根氣補二者妙薬二而、親方下知を以かめ煮二而
差出給候事、

一 七日

○夜前者西之座敷江開鐘比迄目覚不申、

得与寝候付、今日者氣分宜喜悅いたし

候事、

一 二か

○未明二五口はかり給候事 ○四ツ頭時分五分程

○八ツ頭時分五分程

一 汁懸めし

○朝めし八分程、四ツ時分 ○八ツ過時分、昼めし六分ふと
(主男)

○占メ時分夜めし八分程

一 蕎麦切二椀給候事、

一 今晩六ツ時分大便相催候付、用事所江参り
候処、少々相下し候事、 但、大便者平日之通也、

一八日 夜前も西之座敷江得与寝候事、
今日者つかひ氣有之候付、左之通続而給候事、

○五ツ頭時分、五口はかり給候 ○五ツ時分、右同 つかひ氣有之候付兩度続而給候事
○四ツ時分、四分程 ○酉頭時分、五分程 ○酉半時分、五口程

一汁懸めし
○四ツ頭時分、八分程 ○七ツ頭時分、七分程
永堂右料理到来ニ付、是又
大汁手引など給候事

○五ツ前、夜めし八分程
一四ツ頭時分、丸薬五分相用候事、
但、つかひ氣有之候付、猶又五分給候事、

一大便催有之、用事所江参り候処、平日之
通少々下し候事、

一九月 夜前も西之座敷江得与寝候事、
今日者つかひ氣有之候付、左之通続而給候事、

○五ツ頭時分、五分程、五ツ時分 ○四ツ時分、四分程
○八ツ時分、四分程 ○八ツ過時分、三口

一汁懸めし
○五ツ頭時分、六分程 ○九ツ頭時分、朝めし六分程
○七ツ頭時分、六分程 ○夜めし

一丸薬五分相用候事、
一羊之肉別而くすり之由承、煮調候付、私も

給候様親方相進候付、二度給候事、

一十日、

一八日、夜前も西之座敷江得与寝候事、
今日者つかひ氣有之候付、左之通続而給候事、

○五ツ頭時分、五口はかり給候 ○五ツ時分、右同 つかひ氣有之候付兩度続而給候事
○四ツ時分、四分程 ○酉頭時分、五分程 ○酉半時分、五口程

一汁懸めし
○四ツ頭時分、八分程 ○七ツ頭時分、七分程
永堂右料理到来ニ付、是又
大汁手引など給候事

○五ツ前、夜めし八分程
一四ツ頭時分、丸薬五分相用候事、
但、つかひ氣有之候付、猶又五分給候事、

一大便催有之、用事所江参り候処、平日之
通少々下し候事、

一九月、夜前も西之座敷江得与寝候事、
今日者つかひ氣有之候付、左之通続而給候事、

○五ツ頭時分、五分程、五ツ時分 ○四ツ時分、四分程
○八ツ時分、四分程 ○八ツ過時分、三口

一汁懸めし
○五ツ頭時分、六分程 ○九ツ頭時分、朝めし六分程
○七ツ頭時分、六分程 ○夜めし

一丸薬五分相用候事、
一羊之肉別而くすり之由承、煮調候付、私も

給候様親方相進候付、二度給候事、

一十日、

兼亦未東之座敷江寝候処、最前者さハシ
二付寝兼候処、後者心静ニ罷成、得与寝候付、
今日者氣分宜敷有之候事、

一 二かし

- 六ツ時分、五分程 ○六ツ時分、五分程
- 八ツ時分、三分程 ○七ツ時分、四分程

一 けをり

- 五ツ時分、八分程 ○六ツ時分、五分程
- 六ツ時分、七分程 ○七ツ時分、五分程

一 五ツ時分羊汁一椀給候事

一 同日も桑六分ありし

今日者朝がつかい氣有之、猶又五分相用候、
一かやいもをじの汁ニ而和し候薬少々給候事、
但、痰喘たちまさき止候妙薬之由、

一 四ツ時分用事所江参り候処、少々やわからかに
下し候事、

一 十一日

夜前者本座江五ツ時分寝候付、四ツ時分二者
暫目覚候処、追々七ツ時分迄得与寝候由、夫より
蚊多ニ付西之座敷江入候処、目覚候而寝入不申、
曉迄起立候事、

一 二かし

夜前者東之座敷江寝候処、最前者さハシ
二付寝兼候処、後者心静ニ罷成、得与寝候付、
今日者氣分宜敷有之候事、

一 二かし

- 五ツ頭時分、五分程 ○五ツ時分、四分ふと
- 八ツ頭時分、三分程 ○七ツ時分、四分程

一 汁懸めし

- 九ツ頭時分、八分程 ○八ツ時分、昼めし六分程
- 夜めし五ツ前、七分程

一 九ツ時分、羊汁一椀給候事

一 同時、丸薬五分相用候事

今日者朝がつかい氣有之、猶又五分相用候、

一かやいもをじの汁ニ而和し候薬少々給候事、

但、痰喘たちまさき止候妙薬之由、

一 四ツ時分用事所江参り候処、少々やわからかに
下し候事、

一 十一日

夜前者本座江五ツ時分寝候付、四ツ時分二者
暫目覚候処、追々七ツ時分迄得与寝候由、夫より
蚊多ニ付西之座敷江入候処、目覚候而寝入不申、
曉迄起立候事、

一 二かし

○五ツ時分、四分程 ○四ツ頭時分、粥七分程 ○八ツ時分、七口
○西頭時分、粥八分程 ○入相時分、粥六分程

一 汁懸めし

○九ツ頭時分、朝めし七分程 ○七ツ頭時分、五分程

○夜之五ツ時分、夜めし七分程

一 四ツ時分大便相催、用事所江参り候処、此やわらかニ
相応ニ下し候事、

一 四ツ頭時分、丸薬五分相用候事、

一 永良部鮫水ニ而煎しつめ相用候ハ、つかいさハシ

一 永良部鮫水ニ而煎しつめ相用候ハ、つかいさハシ
など之病妙薬之由親方承、山城里之子親雲上江

申付煮調させ、七ツ時分一わん、酉時分一椀相用候事、
但、水箒かんまかり之三ツ、一椀ニ成候程せんじ

候而相用候由、

但水羊めんまのくくく一椀ニ成候程せんじ

りもももも

一 十一日

夜前者最前西之座敷江寝候処、何与やらん

さハシニ付寝不申、東之座敷江移り曉まで
得与寝候付、今日者気分宜罷成候事、

一 一こかし

○五ツ時分、四分程 ○八ツ過時分、五分程 ○七ツ時分、五口

○四ツ前、粥五分程 ○酉頭時分、五分程

一 汁懸めし

○四ツ頭時分、三分程 ○少々ツ、四度ニ而七分程

○四ツ時分大便相催、用事所江参り候処、此やわらかニ
相応ニ下し候事、

○六ツ時分、五分程 ○七ツ時分、五分程 ○八ツ時分、五分程

一 四ツ時分、五分程、五分程、五分程

一 四ツ時分、五分程、五分程、五分程

但、みそ汁共二一椀

但、右通相用候処、つかい差起気分あしく

罷成候処、汁懸めし少々給候付、心静ニ罷成

候事、

一 七ツ過時分、いら部汁一椀相用候事、

但、実者無之汁はかり

一 九ツ頭時分、大便平日之通くはく下し候事、

一 十三日、

夜前も東之座敷江寝申候処、最前者此

さハジニ付安心無之候処、側之者共承候へ者、

後者曉まで得与寝候由、

一 二かし

○未明二四分程 ○五ツ頭時分、三分程 ○四ツ頭、粥三分程

○九ツ時分、五分程 ○八ツ時分、粥八分程 ○六分程

一 汁懸めし

○五ツ頭時分、六分程 ○九ツ頭時分、朝めし七分程

○七ツ過時分、昼めし七分程 ○五ツ時分、夜めし八分程

一 いら部之汁者、食事不進ニ相成候付、相止候事、

一 大便相催、用事所江参り候処、平日之通

一 夜前も東之座敷江寝申候処、最前者此

一 さハジニ付安心無之候処、側之者共承候へ者、

一 後者曉まで得与寝候由、

少々下し候事

一 七ツ過時分も薬分おとし

一 十四日

夜前者暁まで得与寝候付、今日者氣分宜

安心いたし候、

一 一こかし

○未明二七分程 ○五ツ頭時分、粥一椀八分程

○八ツ過時分、六分程こかし ○七ツ時分、粥一椀六分程

○西頭時分、六分程

一 汁懸めし

○朝めし七分、四ツ時分 ○昼めし六分、七ツ頭

○夜めし七分程、五ツ時分

一 九ツ時分、大便平日之通くはく下し候事、

一朝宜寿次親方・仲村親方も見廻ニ被罷出候付、

親方々八帖敷江罷越候様承、私も列参り候処、

癩氣差発咄も不罷成候付、後之家江列越

居候処、神散丸相用候付快罷成候、以後

為心得相記置候、

一 十五日

夜前者得与寝候付、氣分宜癩氣不差発、

喜悦いたし候、

一 一こかし

○八分程、五ツ頭時分 ○九口程、入相時分 ○粥五分程、四ツ頭時分
○五分程、九ツ頭時分 ○七分程、八ツ過時分
○三分程、七ツ過時分

一 けをり

○八分程、四ツ時分 ○四分程、七ツ時分 ○夜めし八分程、五ツ時分
一 羊汁一椀給候事、

一 大便一度平日之通也

一 十六日

夜前者七ツ時分迄者得与寝候処、夫々些さハシ
候付寝不申、今日者気分不相勝候、

一 二か

夜前者七ツ時分、目覚候付、寝不申、瘧氣差起候
心地二而、此通給候事、

○七分程、五ツ頭時分 ○六分程、四ツ頭時分 ○七分、九ツ頭時分
○七分、七ツ頭時分 ○七口、酉過時分

一 けをり

○八分程、四ツ時分 ○昼めし五分程、申時分
○夜めし五分程、五ツ時

一 大便平日之通下し候、四ツ時分、

一 十七日

夜前者晝迄目覚不申、得与寝候付、気分宜
喜悦いたし候事、

一 汁懸めし

○八分程、四ツ時分 ○四分程、七ツ時分 ○夜めし八分程、五ツ時分
一 羊汁一椀給候事、

一 大便一度平日之通也、

一 十六日、

夜前者七ツ時分迄者得与寝候処、夫々些さハシ
候付寝不申、今日者気分不相勝候、

一 一か

夜前七ツ時分、目覚候付、寝不申、瘧氣差起候
心地二而、此通給候事、

○七分程、五ツ頭時分 ○六分程、四ツ頭時分 ○七分、九ツ頭時分
○七分、七ツ頭時分 ○七口、酉過時分

一 汁懸めし

○八分程、四ツ時分 ○昼めし五分程、申時分
○夜めし五分程、五ツ時

一 大便平日之通下し候、四ツ時分、

一 十七日、

夜前者晝迄目覚不申、得与寝候付、気分宜
喜悦いたし候事、

一こかし

○五分程、五ツ頭前 ○五分程、五ツ時分 ○七口、九ツ時分
○五分程、八ツ時分 ○六分程、酉時分 ○五口、夜入時分

一汁懸めし
○朝めし八分程、四ツ時分 ○昼めし八分程、七ツ頭時分
○夜めし八分、五ツ前

一大便少々やわらかに下し候事、
九ツ頭時分
一掃脾丸五分始而相用候事、

但、酉頭時分猶又五分相用候事、

一十八日

夜前者四ツ時分を曉迄得与寝候付、気分相勝り
喜悦至候、

一こかし

○三分程、未明 ○七分程、五ツ頭時分十三口
○五分程、四ツ過時分十口 ○五分程、八ツ過時分八口
○五分程、酉頭時分九口

一汁懸めし

○三分程、四ツ時分つかい差起食進不申候、
朝めし
○七分程、八ツ頭時分 ○昼めし七分程、七ツ過時分

○夜めし六分程、五ツ時分
四ツ過時分
一羊汁一椀給候事、

五ツ時分
一丸薬五分相用候事、

一丸薬五分相用候事、

一 十九日 時分大便平日之通下し候、

夜前者さハし候付、得与寝不申候得共、間々者寝候由、側之者共申候、こたひり者無之候、

一 十九日

○五分程、五ツ頭時分十二口 ○四分程、四ツ頭時分七口

一 十九日

○五分、八ツ頭時分九口 ○五分、酉頭時分十二口

一 十九日

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、八ツ過時分

一 十九日

○夜めし八分程、五ツ時分
○丸薬五分 四ツ頭時分相用候
但、五分酉時分相用候、
但、丸薬両度ニ而一手相用候処、夜も得与寝候へ者、別而相応いたし候積ニ而、以後も一手ハ相用可宜与存候事、

一 十九日

○大便平日之通 七ツ頭時分

一 十九日
此程夜寝申時さハしニ付、然与寝不申候処、夜前者さハしも無之得与寝候付、今日者気分も宜安悦いたし候、

一 十九日

一 十九日
○七口、五ツ頭時分 ○十一口、九ツ時分 ○七口、七ツ頭時分

一 十九日、

一 十九日、

夜前者さハし候付、得与寝不申候得共、間々者寝候由、側之者共申候、こたひり者無之候、

一 十九日

○五分程、五ツ頭時分十二口 ○四分程、四ツ頭時分七口

○五分、八ツ頭時分九口 ○五分、酉頭時分十二口

一 十九日

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、八ツ過時分

○夜めし八分程、五ツ時分

一 十九日

○丸薬五分 四ツ頭時分相用候
但、五分酉時分相用候、
但、丸薬両度ニ而一手相用候処、夜も得与寝候へ者、別而相応いたし候積ニ而、以後も一手ハ相用可宜与存候事、

一 十九日

○大便平日之通 七ツ頭時分

一 十九日
此程夜寝申時さハしニ付、然与寝不申候処、夜前者さハしも無之得与寝候付、今日者気分も宜安悦いたし候、

一 十九日

○七口、五ツ頭時分 ○十一口、九ツ時分 ○七口、七ツ頭時分
(文書筆写時の錯簡につき、538頁544頁が入る)

○七口、占メ時分

一 汁懸めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ時分

○夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分相用候 四ツ時分

一 同三分、夜候而相用候、

一 大便常之通なり、

一 龍福寺住寺 郭陰 長老御頼、祈祷いたし候事、

一 二三日

○夜前者つかい差起さハジ候付、得与寝不申、今日者気分不相勝候、

但、九ツ頭時分る七ツ時分迄ハ寝候而、四ツ之前

後又者七ツを曉迄ハ日覚候而、然与寝不申由、山城申出候、

一 こかし

一 九口、五ツ頭時分 ○九口、八ツ過時分

○五口、夜之五ツ前

一 めし

○朝めし八分、四ツ過時分 ○昼めし七分、七ツ頭時分

○夜めし七分、夜之五ツ前

一 丸薬五分、四ツ過時分相用候、

一 今月者常分ふお物ハ

但、九ツ頭時分る七ツ時分迄ハ寝候而、四ツ之前後又者七ツを曉迄ハ日覚候而、然与寝不申由、山城申出候、

一 同三合 予がけふおれ
 一 羊汁一わん給候事 七ツ時分
 一 九ツ時分、大便常之通也

一 四日
 夜前者さハしも無之得与寝候付、気分も
 宜且目之いたみも相直り、喜悦之至候、

一 一かし
 ○七口、五ツ頭時分 ○七口、八ツ時分 ○五口、酉時分

一 一めし
 ○朝めし八分、四ツ過時分、 ○昼めし八分、七ツ時分
 ○夜めし八分、夜之五ツ前

一 一丸薬五分 四ツ時分
 一 四ツ時分、大便常之通也

一 五日
 夜前者八ツ時分迄得与寝候処、目覚候付
 こかし・みそ汁など給候付、追々暁迄寝候付、気分宜候

一 一こかし
 ○五ツ頭時分、九口 ○七口、八ツ時分 ○九口、七ツ時分

一 一めし
 ○八口、酉過時分

一 一めし
 ○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし四分、七ツ時分
 ○夜めし八分、五ツ時分

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし四分、七ツ時分
 ○夜めし八分、五ツ時分

一 同三分 七ツ頭時分相用候
 一 羊汁一わん給候事 七ツ時分
 一 九ツ時分、大便常之通也、

一 四日、
 夜前者さハしも無之得与寝候付、気分も
 宜且目之いたみも相直り、喜悦之至候、

一 一かし
 ○七口、五ツ頭時分 ○七口、八ツ時分 ○五口、酉時分

一 一めし
 ○朝めし八分、四ツ過時分、 ○昼めし八分、七ツ時分
 ○夜めし八分、夜之五ツ前

一 一丸薬五分 四ツ時分
 一 四ツ時分、大便常之通也

一 五日、
 夜前者八ツ時分迄得与寝候処、目覚候付
 こかし・みそ汁など給候付、追々暁迄寝候付、気分宜候

一 一こかし
 ○五ツ頭時分、九口 ○七口、八ツ時分 ○九口、七ツ時分

一 一めし
 ○八口、酉過時分

一 一めし
 ○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし四分、七ツ時分
 ○夜めし八分、五ツ時分

一 九薬五分、五ツ頭時分相用候、

一 同日分、九ツ時分

一 今日者四ツ時分癩差起、日中氣分不相勝候、

一 七ツ時分、大便常之通なり、

一 六日、

昨夜者度々目覚候得共、間々者得与寝候付、

今日者氣分宜候、

一 一こかし

○七口、五ツ頭時分

下屋敷三而 ○九口、八ツ頭時分

一 一めし

○八分、四ツ時分

下屋敷三而 ○八分、八ツ時分

○八分、夜之五ツ時分

一 九薬五分相用候

一 一まんてう三ツ

一 下やしきニいつれも相列、九ツ頭時分罷越、酉

過時分罷帰候事、

一 四ツ時分、大便常之通

一 七日、

夜前者得与寝候付、氣分宜候、

此内者目之いたみ有之候処、夜前得与寝候付、

今日者いたみ薄く罷成候、

一 一こかし

○九口、五ツ頭時分

○九口、八ツ時分

○九口、四時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分、〇昼めし八分
御客様方江御馳走之料理
○夜めし

一 丸薬

一 大便常之通、四ツ時分

一 十日

夜前者御客様方夜更迄御緩々被成御座候付、然与寝不申候処、今日者気分不勝候、

一 二か

○九口、五ツ頭時分、〇七口、八ツ頭時分、〇七口、七ツ時分

朝めし八分、四ツ時分、昼めし七分、七ツ過時分
夜食八分

一 丸薬五分、四ツ頭時分

一 一酉頭時分、大便常之通

一 二か

一 九口、五ツ時分

一 一めし

○朝めし九分、四ツ時分、〇

一 丸薬五分、四ツ過時分

一 一九ツ時分、大便常之通

一 十二日

○朝めし八分、四ツ時分、〇昼めし八分
御客様方江御馳走之料理
○夜めし

一 丸薬

一 大便常之通、四ツ時分

一 十日

夜前者御客様方夜更迄御緩々被成御座候付、然与寝不申候処、今日者気分不勝候、

一 二か

○九口、五ツ頭時分、〇七口、八ツ頭時分、〇七口、七ツ時分

一 一めし

朝めし八分、四ツ時分、昼めし七分、七ツ過時分
夜食八分

一 丸薬五分、四ツ頭時分

一 一酉頭時分、大便常之通

一 二か

一 九口、五ツ時分

一 一めし

○朝めし九分、四ツ時分、〇

一 丸薬五分、四ツ過時分

一 一九ツ時分、大便常之通

一 十二日

夜前者四ツ前六ツ前迄目覚不申、得与寝候付、今日者氣分相揃候、

一 一かし

〇七口、五ツ頭時分 ○十口、八ツ時分

一 一めし

〇朝めし九分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ時分 ○一丸薬五分、七ツ時分相用候、

一 一用事所江参り候処、大便下し不申候、

一 一十三日、

夜前者目覚候付、得与寝不申、今日者癩も差起、氣分不相勝候、

一 一こかし

〇九口、五ツ頭前 ○七口、五ツ時分 ○七口、八ツ時分

〇七口、入相時分

一 一めし 四ツ時分

〇朝めし八分 ○昼めし七分、七ツ頭時分 ○一丸薬五分相用候 五ツ時分

一 一夜前者得与寝不申、癩気差起候付、神教丸相用、相用候付、少々快罷成候事、

一 一五ツ時分、大便常之通也、

一 一十四日、

夜前者九ツ頭時分迄者癩気差発、寝不申候処、右時分者夜明迄得与寝候付、何そ之草臥者無之候、

一 二かし

○九口、五ツ頭時分 ○七口、酉時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、七ツ時分
○夜めし七分、五ツ前

一 丸薬五分相用候 四ツ過時分

一 羊之汁相用候 九ツ頭時分

一 十五日

夜前者九ツ時前寢候付、七ツ時分目覚、こかし
なと相用、曉迄寢候事、

一 一めし

○九口、五ツ時分 ○九口、八ツ時分

一 丸薬五分

○朝めし八分 ○

一 大便九ツ時分常之通、

一 十六日

夜前者四ツ前、明六ツ前迄得与寢候付、気分
宜候、

一 一めし

○九口、五ツ頭時分 ○九口、四ツ過時分

一 一めし

○九口、五ツ頭時分 ○七口、酉時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、七ツ時分
○夜めし七分、五ツ前

一 丸薬五分相用候 四ツ過時分

一 羊之汁相用候 九ツ頭時分

一 酉過時分、大便常之通

一 十五日

夜前者九ツ時前寢候付、七ツ時分目覚、こかし
なと相用、曉迄寢候事、

一 一めし

○九口、五ツ時分 ○九口、八ツ時分

一 一めし

○朝めし八分 ○

一 丸薬五分

一 大便九ツ時分常之通、

一 十六日

夜前者四ツ前、明六ツ前迄得与寢候付、気分
宜候、

一 一めし

○九口、五ツ頭時分 ○九口、四ツ過時分

一 光一

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、七ツ時分

○夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分 四ツ時分相用候

一 大便常之通 四ツ頭時分

一 十七日

○夜前者得与寝候付、今日氣分宜候、

一 一こかし

○九口、五ツ時分 ○九口、八ツ時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ頭時分

○夜めし七分、五ツ時分

一 丸薬五分相用候 四ツ過時分

一 大便常之通 九ツ時分

一 十八日 二月廿九日

○夜前者得与寝候付、氣分宜候、九ツ時分一こかし、

みそ汁給候事、

一 一こかし

○九口、五ツ頭時分 ○九口、八ツ頭時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、八ツ過時分

○夜めし六分、五ツ時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、七ツ時分

○夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分 四ツ時分相用候

一 大便常之通 四ツ頭時分

一 十七日、

○夜前者得与寝候付、今日氣分宜候、

一 一こかし

○九口、五ツ時分 ○九口、八ツ時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ頭時分

○夜めし七分、五ツ時分

一 丸薬五分相用候 四ツ過時分

一 大便常之通 九ツ時分

一 十八日、

○夜前者得与寝候付、氣分宜候、九ツ時分一こかし、

みそ汁給候事、

一 一こかし

○九口、五ツ頭時分 ○九口、八ツ頭時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、八ツ過時分

○夜めし六分、五ツ時分

一 丸薬五分 四ツ過時分

一 羊之汁一椀給候事、

一 今日入相時分、多人数挨拶等ニ相草臥候哉、

気分あしく罷成驚人候処、みそ汁・こかし

など給候付、快罷成候事、

一 用事所江参り候処、大便下し不申候、

一 十九日、

夜前者得与寝候付、気分宜候事、

但、今日西之座江寝候事、

一 こかし

○十口、五ツ頭時分 ○十口、七ツ頭時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ過時分

○夜めし七分、五ツ前

一 丸薬五分 四ツ頭時分

一 四ツ時分、大便常之通

一 廿日、

夜前西之座江得与寝候付、気分宜敷

喜悦いたし候事、

一 こかし

○十口はかり、五ツ頭時分 ○十口、七ツ頭時分

一 一めし

一 丸薬五分 四ツ過時分

一 羊之汁一椀給候事、

一 今日入相時分、多人数挨拶等ニ相草臥候哉、

気分あしく罷成驚人候処、みそ汁・こかし

など給候付、快罷成候事、

一 用事所江参り候処、大便下し不申候、

一 十九日、

夜前者得与寝候付、気分宜候事、

但、今日西之座江寝候事、

一 こかし

○十口、五ツ頭時分 ○十口、七ツ頭時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ過時分

○夜めし七分、五ツ前

一 丸薬五分 四ツ頭時分

一 四ツ時分、大便常之通

一 廿日、

夜前西之座江得与寝候付、気分宜敷

喜悦いたし候事、

一 こかし

○十口はかり、五ツ頭時分 ○十口、七ツ頭時分

一 一めし

今日者つかい候付、不相進候
○朝めし八分、四ツ時分
○昼めし五分、七ツ過時分

○朝めし七分、四ツ時分
○昼めし八分、七ツ過時分

○夜めし五ツ時前

一丸藥五分

夜前も西之座敷江得与寢候付、氣分宜喜悅
いたし候、

一こかし

○十口程、五ツ頭時分 ○十口程、七ツ時分

一めし

○朝めし七分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ過時分

一丸藥五分 七ツ時分

一七ツ過時分、大便常之通

一廿二日、

夜前者、西之座敷江得与寢候付、夜半時分
目覚候付、こかし・みそ汁給候而寢候付、氣分
宜喜悅いたし候、

一こかし

○十口程、五ツ時分 ○九口程、入相時分

一めし

○朝めし七分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ過時分

○夜めし五ツ時前

一丸藥五分

夜前も西之座敷江得与寢候付、氣分宜喜悅
いたし候、

一こかし

○十口程、五ツ頭時分 ○十口程、七ツ時分

一 大便常之通 四ツ時分

一 廿三日、
夜前も西之座江得与寝候得共、七ツ過時分
者目覚候得共、何ぞ草臥者無之候、

一 一かし
○七口程、五ツ時分 ○九口程、八ツ頭時分

一 一かし

○朝食八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ時分

一 一かし
○夜めし七分、五ツ前

一 一かし
○九藥五分 八ツ時分

一 廿四日、
夜前者、四ツ前迄ハ糞氣差発寝兼候処、
こかし・みそ汁杯給候付、曉迄得与寝候而、
気分宜候、

一 一かし
○七口程、五ツ時分 ○七口、九ツ過時分 ○七口、酉過時分

一 一かし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし五分、七ツ頭時分

一 一かし

○夜めし七分、五ツ時分

一 一かし
○九藥五分

一 六ツ時分大便常通

○夜前者得与寝候付、氣分宜喜悅いたし候、

一 廿五日

○七口程、五ツ時分 ○九口程、八ツ時分

一 廿六日

○七口程、五ツ時分 ○九口程、八ツ時分

一 廿七日

○七口程、五ツ時分 ○九口程、八ツ時分

○夜めし七分、四ツ時分 ○夜めし七分、九ツ時分

一 廿八日

一 廿九日

○夜めし七分、四ツ時分 ○夜めし七分、九ツ時分

○夜めし七分、四ツ時分 ○夜めし七分、九ツ時分

一 三十日

○夜めし七分、四ツ時分 ○夜めし七分、九ツ時分

一 三十一日

○夜めし七分、四ツ時分 ○夜めし七分、九ツ時分

一 一丸薬五分

○夜めし七分、四ツ時分 ○夜めし七分、九ツ時分

一 大便常之通、四ツ時分

一 廿七日

一 五ツ時分、大便常之通

一 九ツ頭時分、猶又大便いたし候処、少々やわらかに有之候、

一 廿五日

夜前者得与寝候付、氣分宜喜悅いたし候、

一 二かかし

○七口程、五ツ時分 ○九口程、八ツ時分

一 一めし

○朝めし七分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ過時分

○夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分 酉過時分

一 廿六日

夜前者四ツ過時分・七ツ半時分目覚候付、こかし

みそ汁など給、夜明候而起立候事、

一 二かかし

○七口程、五ツ時分 ○七口程、八ツ頭時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、七ツ時分

○夜めし七分、九ツ時分

一 丸薬五分

一 大便常之通、四ツ時分

一 廿七日

夜前者得与寝候処、八ツ時分者目覚候付、こかし・みそ汁給候付、曉迄寝候付氣分直候、

一 二かし

○七口程、五ツ頭前

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分

一 一丸薬五分

一 大便常通

一 廿八日

夜前者八ツ時分迄ハ得与寝候処、八ツ後目覚候付、両度こかし・みそ汁など給候得共、然与寝不申候得共、何ぞ草臥者無之候、

一 二かし

○七口、五ツ頭時分

一 一めし

○朝めし八分、四ツ時分

○夜めし七分、五ツ時分

一 丸薬五分

一 羊之汁一椀給候事

一 大便常通

一 廿九日

夜前者九ツ前迄ハ目覚候而、寝不申候処、九ツ時分者

始之寢候有宜候も五

二か

○七口程、五ツ頭時分 ○七口程、西過時分

一 丸

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ頭時分

○夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分、八ツ頭時分

一 羊之汁一椀給候事、九ツ時分

一 大便常之通、七ツ頭時分

一 三拾日

夜前も六ツ前迄得与寢候付、氣分宜敷

喜悦いたし候、

一 二か

○七口程、五ツ頭時分 ○九口程、西過時分

一 丸

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、八ツ過時分

一 丸薬五分、九ツ時分

一 羊之汁、四ツ時分

但、朝めしかて物ニ而給候、

大便常之通

一 私病氣之儀、去八月十日を保養方

得与寢候付、氣分も宜候、

一 二か

○七口程、五ツ頭時分 ○七口程、西過時分

一 丸

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ頭時分

○夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分、八ツ頭時分

一 羊之汁一椀給候事、九ツ時分

一 大便常之通、七ツ頭時分

一 三拾日、

夜前も六ツ前迄得与寢候付、氣分宜敷

喜悦いたし候、

一 二か

○七口程、五ツ頭時分 ○九口程、西過時分

一 丸

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、八ツ過時分

○

一 丸薬五分、九ツ時分

一 羊之汁、四ツ時分

但、朝めしかて物ニ而給候、

大便常之通

一 私病氣之儀、去八月十日を保養方

日記のしりしり、かゝる根氣者本之通
言より故長家本日増順快しりりり
是迄日記取止りりり

一廿一日

夜前者得与寝候付、今日者気分宜喜悦
いたし候、

一廿一日
夜前者得与寝候付、今日者気分宜喜悦
いたし候、

一廿一日

○九口、五ツ頭時分 ○七口、九ツ頭時分 ○九口、八ツ頭時分

○七口、西時分

一廿一日

○朝めし八分程、四ツ時分 ○昼めし七分程、七ツ時分

○夜めし八分程、五ツ時分

一廿一日

○丸薬五分 九ツ頭時分

一廿一日

○同五分、八ツ頭時分

一廿一日

但、右分者此程酉過時分相用候処、折節
むねつかい気分あしく有之候付、為試八ツ
頭時分相用候、

一廿一日

右通つかい之時、為試丸薬積而相用候処、
つかい快罷成候間、以後も其心得可宜与存候事、

一廿一日

一十九ツ頭時分、大便常之通下し候事、

一廿一日

夜前者九ツ時分迄ハ得与寝候処、夫々目覚

日記いたし候処、いまた根氣者本之通
無之候得共、最早日増順快いたし候付、
是迄日記取止候事、

一廿一日、

夜前者得与寝候付、今日者気分宜喜悦
いたし候、

いたし候、

一こかし

○九口、五ツ頭時分 ○七口、九ツ頭時分 ○九口、八ツ頭時分

○七口、西時分

一汁懸めし

○朝めし八分程、四ツ時分 ○昼めし七分程、七ツ時分

○夜めし八分程、五ツ時分

一丸薬五分 九ツ頭時分

一同五分、八ツ頭時分

但、右分者此程酉過時分相用候処、折節

むねつかい気分あしく有之候付、為試八ツ
頭時分相用候、

頭時分相用候、

右通つかい之時、為試丸薬積而相用候処、
(続カ)

つかい快罷成候間、以後も其心得可宜与存候事、

一十九ツ頭時分、大便常之通下し候事、

一廿一日、

夜前者九ツ時分迄ハ得与寝候処、夫々目覚

身七つ時分六寝より八時迄候
一 〇九にわたり候分 〇十一日五つ時分

〇十一日酉時分

一 けり

〇夜めし七分、四ツ時分 〇昼めし八分、七ツ時分

〇夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分 九ツ時分

一 同五分 酉時分

一 廿三日

夜前者西之座敷ニ寝候処、最前者此ニハシ
候付、東之座敷江出候処、ねむり相付候付、
猶又西之座敷江入候付、早速寝入曉迄得与
寝候付、喜悦之至候、

〇十一日五つ時分 〇十一日八つ時分

〇七日七つ時分 〇十日五つ時分

一 けり

〇夜めし八分程、今日者汗懸不進、常之通給候事、
但、白みせニ而ふた志々汁給候事、

〇夜めし八分、七ツ頭時分 〇夜めし八分、五ツ時分

候付、七ツ時分迄ハ寝不申候処、何ぞ草臥も
無之、気分宜安心いたし候、

一 こかし

〇九口、五ツ頭時分 〇十一口、九ツ時分

〇十一口、酉時分

一 汁懸めし

〇朝めし七分、四ツ時分 〇昼めし八分、七ツ時分

〇夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分 九ツ時分

一 同五分 酉時分

一 廿三日

夜前者西之座敷ニ寝候処、最前者此ニハシ
候付、東之座敷江出候処、ねむり相付候付、
猶又西之座敷江入候付、早速寝入曉迄得与
寝候付、喜悦之至候、

一 こかし

〇十一口、五ツ頭時分 〇十一口、八ツ頭時分

〇七口、七ツ過時分 〇十一口、酉時分

一 めし

〇朝めし八分程、今日者汗懸不進、常之通給候事、
但、白みせニ而ふた志々汁給候事、

〇昼めし八分、七ツ頭時分 〇夜めし八分、五ツ時分

一 丸薬五分、九ツ頭時分

一 同五分、七ツ時分

一 早朝、大便常之通なり

一 廿四日、

夜前者さハシニ付、西之座敷往来ニ而、得与寝不申、今日者気分不相勝候事、

一 一こかし

○五ツ頭時分、十二口 ○九口、九ツ時分 ○七口、八ツ頭時分

○七口、八ツ過時分 ○五口、酉過時分

一 一めし

○八分、四ツ時分 汁懸 ○五分、八ツ頭時分 ○昼めし七分、七ツ頭時分

○夜めし七分、五ツ時分

一 丸薬五分、九ツ時分相用候、

一 同五分、八ツ頭時分

一 八ツ時分、大便常之通なり、

一 廿五日、

夜前者昨夜然与寝不申候付、能寝申管与

存候処、猶又さハジニ付寝入不申候処、四ツ

時分者暁迄得与寝候付、今日者気分

宜喜悦之至候、

一 一こかし

○七口、五ツ頭時分 ○九口、酉時分 ○七口、夜之四ツ前

○七口、八ツ過時分 ○九口、四ツ時分 ○七口、夜之四ツ前

○八分、四ツ時分 ○五分、八ツ頭時分 ○昼めし七分、七ツ頭時分

○夜めし七分、五ツ時分

一 丸薬五分、九ツ時分相用候、

一 同五分、八ツ頭時分

一 八ツ時分、大便常之通なり、

一 廿五日、

夜前者昨夜然与寝不申候付、能寝申管与

存候処、猶又さハジニ付寝入不申候処、四ツ

時分者暁迄得与寝候付、今日者気分

宜喜悦之至候、

一 一こかし

○七口、五ツ頭時分 ○九口、酉時分 ○七口、夜之四ツ前

一先

○於食七分程、内分、〇五、一八分程、七ツ頭時分

○夜、一八分、五ツ時分

一丸藥五分、九ツ頭時分

一丸藥五分

一八ツ時分、大便常之通也、

一廿六日

○夜前者得与寝候付、氣分相勝喜悦之至候、

一こかし

○九口、五ツ頭時分 ○十口、八ツ頭時分

○九口、酉頭時分 ○十一口、夜五ツ時分

一先

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ頭時分

○夜めし八分、五ツ時分

一丸藥五分、七ツ頭時分

一いら部之汁一椀給候

大便常之通 九ツ頭時分

一十七日

夜前者五ツ時分、六ツ前迄得与寝候処、

むね二つかい有之、氣分不相勝候、

一こかし

○未明二十口 ○五口、五ツ時分 ○七口、九ツ頭時分

一めし

○朝食七分程、四ツ時分 ○昼めし八分程、七ツ頭時分

○夜めし八分、五ツ時分

一丸藥五分、九ツ頭時分

一丸藥五分

一八ツ時分、大便常之通也、

一廿六日、

夜前者得与寝候付、氣分相勝喜悦之至候、

一こかし

○九口、五ツ頭時分 ○十口、八ツ頭時分

○九口、酉頭時分 ○十一口、夜五ツ時分

一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ頭時分

○夜めし八分、五ツ時分

一丸藥五分、七ツ頭時分

一いら部之汁一椀給候

大便常之通 九ツ頭時分

(廿九)
一十七日、

夜前者五ツ時分、六ツ前迄得与寝候処、

むね二つかい有之、氣分不相勝候、

一こかし

○未明二十口 ○五口、五ツ時分 ○七口、九ツ頭時分

○湯一椀、候付分、〇七口、〇七分

一 丸

○朝めし八分、四ツ時分、〇七口、〇七分、八ツ過時分

○夜めし七分、五ツ前

一 丸

但、昼時分者つかい差発、氣分不宜候処、右通丸薬相用候付、則快罷成候事、

一 丸

一 丸

夜前者四ツ時分、六ツ前迄得与寝候付、朝之氣分者宜候得共、瘧氣差起不申候哉、世話ニ存候事、

一 丸

〇十二口、五ツ頭時分、〇十二口、八ツ頭時分、下やし三而、〇七口、七ツ時分、〇七口、酉頭時分、〇七口、くメ時分

一 丸

〇朝めし八分、四ツ時分、〇七分、七ツ過時分

〇夜めし七分、五ツ時分

一 丸

○湯之粉一椀、四ツ頭時分、〇九口、西過時分

一 丸

○朝めし八分、四ツ時分、〇七口、七ツ過時分

○夜めし七分、五ツ前

一 丸

一 丸

但、昼時分者つかい差発、氣分不宜候処、右通丸薬相用候付、則快罷成候事、

一 丸

一 丸

一 丸

一 丸

夜前者四ツ時分、六ツ前迄得与寝候付、朝之氣分者宜候得共、瘧氣差起不申候哉、世話ニ存候事、

一 丸

一 丸

〇十二口、五ツ頭時分、〇十二口、八ツ頭時分、下やし三而、〇七口、七ツ時分、〇七口、酉頭時分、〇七口、くメ時分

一 丸

〇朝めし八分、四ツ時分、〇七分、七ツ過時分

〇夜めし七分、五ツ時分

一 丸

一 丸

昨日いら部之汁給候付、大便よるく相成候哉与存候、

一 四ツ頭時分大便いたし候処、些やわらかに有之候、
一 廿九日、

夜前者最前さハシニ付寝兼候処、追々寝入
曉迄得与寝候付、今日者氣分宜候、

一 一こかし

○十二口、五ツ頭時分 ○十二口、九ツ時分

○九口、西頭時分

一 汁懸めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし八分、七ツ時分

○夜めし七分、五ツ時分

一 丸薬五分 四ツ頭時分相用候

一 同五分 九ツ頭時分相用候

一 八ツ時分、羊之汁一椀給候事、

一 九ツ時分、大便常之通なり、

今日者、日中癩気も不差発、上通なり、

十月中

一 朔日、

夜前者七ツ時分目覚候付、得与寝不申

候得共、つかい者何そ差起不申、氣分宜候、

一 一こかし

○七口、五ツ頭前 ○九口、五ツ時分 ○九口、八ツ時分

○十一口、入相時分

一めし

○朝めし八分、四ツ時分 ○昼めし七分、七ツ時分

○夜めし七分、夜之五ツ前

一丸薬五分、四ツ頭時分

一羊之汁一椀給候事 七ツ頭時分

一七ツ時分、大便常之通なり、

一二月 上四日三時三十分

○九口、五ツ頭時分 ○十一日、九ツ頭時分

○七口、七ツ頭時分

一めし

○朝めし七分、四ツ過時分 ○昼めし七分、七ツ過時分

○夜めし

一丸薬五分 四ツ頭時分

一同三分 九ツ頭時分

一同三分 七ツ時分

一羊之汁一椀給候事 八ツ頭時分

一七ツ時分、大便常之通なり、

一二月

○九口、五ツ頭時分 ○十一日、九ツ頭時分

○七口、七ツ頭時分

一めし

○朝めし七分、四ツ過時分 ○昼めし七分、七ツ過時分

○夜めし

一丸薬五分 四ツ頭時分

一同三分 九ツ頭時分

一同三分 七ツ時分

一羊之汁一椀給候事 八ツ頭時分

一七ツ時分、大便常之通なり、

七月廿日

四代親方御先室御看病日記

今日名城親上・仲程里之子親雲上四ツ過時分被罷出、
 脈診相濟、配濟相談被致候処、仲程被申候者、名城
 被相老候配濟成ほと宜相見得候処、自分二ハ□□^(才若カ)
 候得者長々之病氣ニ而やしも有之、依年ハ痰症ニも
 可相成哉、當時はやり之風氣も有之箬候得共、
 夫者差捨、何歟与言配濟相用候者、熱もさめ
 可申与存候、乍然今日・明日見候而与風之老
 □三候間、是も強而ハ難申由被申候付、名城被申候者、
 是も尤之見立ニ而候得共、昨日相用候配濟ニ而、
 咳嗽半方ほと相へり、宜方ニ相見得候間、

乾隆六十年乙卯

七月廿日

四代親方御先室御看病日記

今日名城親雲上・仲程里之子親雲上四ツ過時分被罷出、
 脈診相濟、配濟相談被致候処、仲程被申候者、名城
 被相老候配濟成ほと宜相見得候処、自分二ハ□□^(才若カ)
 候得者長々之病氣ニ而やしも有之、依年ハ痰症ニも
 可相成哉、當時はやり之風氣も有之箬候得共、
 夫者差捨、何歟与言配濟相用候者、熱もさめ
 可申与存候、乍然今日・明日見候而与風之老
 □三候間、是も強而ハ難申由被申候付、名城被申候者、
 是も尤之見立ニ而候得共、昨日相用候配濟ニ而、
 咳嗽半方ほと相へり、宜方ニ相見得候間、

今日一日は是くすり三而相用、明後日何分ニも

相談次第配済相立候而者、何様候哉与被申候付、
弥其通可然由、致相談候事、

一煎薬壺番ハ給、二番ハ私相試候事、

一朝めしハ不進候而員数少候処、昼飯者

此中之通給候事、

一四ツ過る少寒有之由候処、追而熱差発

候得共、昨日ハ少せやハらき候様、相見得候事、

一氣分ハ昨日ハ余ほと相勝申候、

一さつくい昨日ハ三分二ハ相減候事、

一妹むたしや看病相頼候事、

一摺茶かわきを止候由、今日三服給候事、

一廿五日、夜前、夜入候而よりハ熱も相さめ、咳嗽

殊之外相止、今日五ツ過迄得与寝申候間、

氣分も相勝、めしも相応ニ給候事、

一九ツ頭時分ハ漸々熱差発、八ツ時分ニ者

昨日ハ熱強有之、鶏ノ汁ニわん給候而

漸々相さめ候、右通熱為有之事情得共、

夜前得与相休候而食事も相応ニ給候付、

氣分ハ昨日ハ宜有之候事、

一煎薬壺袋、昨日之配済ニ而名城ハ申請、

夜入時分一番せんしハ給候、

今日一日は是くすり三而相用、明後日何分ニも

相談次第配済相立候而者、何様候哉与被申候付、
弥其通可然由、致相談候事、

一煎薬壺番ハ給、二番ハ私相試候事、
一朝めしハ不進候而員数少候処、昼飯者
此中之通給候事、
一四ツ過る少寒有之由候処、追而熱差発
候得共、昨日ハ少せやハらき候様、相見得候事、
一氣分ハ昨日ハ余ほと相勝申候、
一さつくい昨日ハ三分二ハ相減候事、
一妹むたしや看病相頼候事、
一摺茶かわきを止候由、今日三服給候事、
一廿五日、夜前、夜入候而よりハ熱も相さめ、咳嗽
殊之外相止、今日五ツ過迄得与寝申候間、
氣分も相勝、めしも相応ニ給候事、
一九ツ頭時分ハ漸々熱差発、八ツ時分ニ者
昨日ハ熱強有之、鶏ノ汁ニわん給候而
漸々相さめ候、右通熱為有之事情得共、
夜前得与相休候而食事も相応ニ給候付、
氣分ハ昨日ハ宜有之候事、
一煎薬壺袋、昨日之配済ニ而名城ハ申請、
夜入時分一番せんしハ給候、

一補之くすり別而嫌ひ申候処、幸地親方、
私三而段々申聞候付、一番ハ給候事、
一今日も鍋牛之汁三わんはかり、摺茶も
望候付、一袋候也、

一此ほど何そ風ハ嫌ひ不申候処、此両三日ハ
別而風嫌ひ申体ニ相見得候事、

一廿六日、名城親雲上・仲程筑登之親雲上四ツ頭時分
被罷出、看脈ニ而段々吟味被致候処、咳嗽者
過半相減候得共、熱相止不申候間、一昨日仲程
存寄之配濟相用候而可然与被相決、仲程
さしニ而一袋調合被致候事、

他ハ配濟洋参入不申、

一幸地親方御出、養生事相談被致候事、

一此中之くすり洋参相加候而、別而きらい
候而、昨晚幸地親方・私ニ而段々申聞候者、
いやなから一番せんしハ惣様給候処、夫々
熱差発さつくいも一涯相増候処、少々
あし出熱相さめ候、然者自分ハ此程申候通、補ハ
相応不致様ニも相見得、名城・仲程江も其段
委細相達候事、

一昨夜ハ目さめ、夜之八ツ過時分ハ寝候而、今朝ハ
四ツ頭時分起候事、

一昨夜ハ目さめ、夜之八ツ過時分ハ寝候而、今朝ハ
四ツ頭時分起候事、

一昨夜ハ目さめ、夜之八ツ過時分ハ寝候而、今朝ハ
四ツ頭時分起候事、

一 熱氣無之、気分も相勝候処、九ツ過時分
熱差発候得共、熱勢弱有之食事等

相心ニ給、気分快相見得候事、

一名城親雲上御番ニ而御雇申上候処、及御伺九ツ

時分被罷出、仲程も追々被罷出看脈被致、弥快

相見得候付、昨日配濟之通仲程二袋調合被致

候事、

一 今日ハ別而気分相増、朝めしも幸地親方・私

内江罷居候内給候処、めし中茶わん七分

ほと不残給、汁も一わん給、様体彼是

此中宜相見得候事、

一 熱も九ツ過時分差発候得共、別而輕有之、

一 昨日者昨日者輕ク、昨日者今日ハ猶又輕有之、

今体ニ而者追日順快之体ニ相見得、いつれも

大慶不過之候、

一 幸地親方御室・母親・嘉陽御曾祖母・伊野波

親方御懷も御出會に而、病体之様子御相談

いたし候処、煎薬之儀此中別而いやり、昨日も

一番せし給候処、則半分ほと吐出、今日も

一番せんし給候処、何歎服中受不申様

相見得候処、無間も不残吐捨候付而、先両

三日中者煎薬差扣候方可然由、何れも

一 熱氣無之、気分も相勝候処、九ツ過時分
熱差発候得共、熱勢弱有之食事等

一 今日ハ別而気分相増、朝めしも幸地親方・私
内江罷居候内給候処、めし中茶わん七分
ほと不残給、汁も一わん給、様体彼是
此中宜相見得候事、

一 熱も九ツ過時分差発候得共、別而輕有之、
一 昨日者昨日者輕ク、昨日者今日ハ猶又輕有之、
今体ニ而者追日順快之体ニ相見得、いつれも
大慶不過之候、

一 幸地親方御室・母親・嘉陽御曾祖母・伊野波
親方御懷も御出會に而、病体之様子御相談
いたし候処、煎薬之儀此中別而いやり、昨日も
一番せし給候処、則半分ほと吐出、今日も
一番せんし給候処、何歎服中受不申様
相見得候処、無間も不残吐捨候付而、先両
三日中者煎薬差扣候方可然由、何れも

一 昨午申時頃、胎動、胎候候事、
胎動、胎候候事、胎動、胎候候事、
胎動、胎候候事、胎動、胎候候事、
胎動、胎候候事、胎動、胎候候事、
胎動、胎候候事、胎動、胎候候事、

一 本日、諸事昨日同断宜相見得候共、気分者
昨日程者相勝不申様有之、いづれも吟味仕候処、
今日ハ平日ノ朝起いたし寝たる事ニ而、右通
可有之与、決断いたし候事、

一 煎薬者昨日相談之通差扣候、
一 廿九日、医者兩人被罷出筈候処、名城ハ昨日用事ニ而
那覇江被罷下、八ツ時分迄帰宅不致候付、仲程
注進いたし、八ツ後被罷出候付看脈被致、
去廿六日仲程配濟之通二袋調合いたし、
明日も弥順快之体ニ者、明後日被罷出約束ニ而
被罷帰候事、

一 食事・咳嗽・下シ、此内之通宜相通候事、
一 昨廿八日三者九ツ頭ノ熱差発、夜入候而
相さめ申候間、今日者八ツ頭時分ノ差発、
酉時分三者余程相さめ、少々相残候熱勢も
弱、其上重く差発、はやく相さめ旁
快方ニ相見得候事、

一 食事・咳嗽・下シ、此内之通宜相通候事、
一 昨廿八日三者九ツ頭ノ熱差発、夜入候而
相さめ申候間、今日者八ツ頭時分ノ差発、
酉時分三者余程相さめ、少々相残候熱勢も
弱、其上重く差発、はやく相さめ旁
快方ニ相見得候事、

今日もくすりハ差扣候事、

八月申

朝日朝氣分ハ昨日ノ通宜相見得候處、朝飯も昨日ノ
少々員数相重給候處、八ツ時分ノ熱差発、昨日ノ通
早々相さめ不申、漸々薄罷成、夜入候而昨日酉
時分程相さめ候事、

一 右通熱長々相さめ不申候得共、氣分ハ何そ
昨日相替不申、

一 煎薬差扣候事、

二 二日名城親雲上被罷出咎候處、与風疝氣差発
候由ニ而不被罷出候、仲程筑登之親雲上・幸地親方江も
御相談之上、高宮城筑登之親雲上相招候處、病後難儀
之体候得共、押而被罷出候事、

一 自分ノ申候者、此比痰相滞右表かたむね
之辺いたみ有之候間、痰めくらし候配濟ニ而
給度由申候付、医者兩人江其段相達、此中之
配濟ニ加減いたし調合被給候事、

一 夜入五ツ時分右くすり相用候處、是又則
吐捨、くすり服中受不申様相見得候事、

一 食事ハ日増宜相進候事、

一 熱者八ツ時分四刻前ノ差発候處、昨日ノハ
少々輕相見得、晩方ハよふと相さめ候事、

一 昨夜ハ八ツ時分刻前ノ差発候處、昨日ノハ
少々輕相見得候事、

一 昨夜ハ八ツ時分刻前ノ差発候處、昨日ノハ
少々輕相見得候事、

二日今日て候ふ氣分未だ相勝、朝めしも中
茶碗七分ふと給、昼めし者右茶わん二而五分迄
少々給、汁も塩煮一わん給、日増食事者
相進候体ニ相見得候事、

一 熱者此中之通、八ツ三刻前々漸々相起
候処、輕有之西時分者余ふと相覚、一昨日者
日増熱かろく相成候事、

一 煎藥給候得者則吐出、もはや及兩三度
相応不致様子ニ相見得候付、今日ハ差扣候事、
一 幸地親方并御室御出様体御免被成候処、
此方有之通今体ニ而追而順快可仕与、大慶
御同然之御事候、

一日 名城・仲程・高宮城八ツ時分被罷出看脈
被致、療治之次第相談被致候処、煎藥ハ此中
別而いやかり、其上押而相用候得者則吐出申由
候得者、兎角服中相応仕間敷、且昨日ハ煎藥
差扣候処、却而氣分・食事等も此中も相勝、
且食事・氣分等之様子承候得者、此位之熱ニ而
元氣相へり候次第者相見得不申候間、先四・五
日程者煎藥差扣候而相試候方可然与、被相決
候事、

但、幸地親方□□□□文相談之趣、御同意ニ而

源安候事

今日八ツ時分熱差発候処、昨日ハ少
相増、夫長ケ気分等も昨日ほと者相勝
不申、然者昨日迄者日増熱も薄罷成、
食事等も相進気分も宜候処、何様之儀ニ而
右通熱さめ兼可申哉、吟味仕候処、昨晚
春もち一切砂糖付候而給候由、夫故はら
滞熱もさめ兼申積与吟味仕候事、
一 医者衆長々看脈不被致由ニ而、無心元
候間、此方ハ様子次第入来給度、且今日
母親御□滞ニ付而ハ、高宮城くすり
相用被□候間、弥明日ハ宜寿次も被罷出、
此方江も入来、婦脈体等得与被相何度、
頼入候事、

五月二十日、高宮城筑登之親雲上四ツ過時分被罷出、
脈体見候而、昨日ハ腹滞有之候付、くすり二袋
調合被致候事、

一 六日ハ煎薬差扣候筋、医者中
相談相決被置候処、昨日ハはら相滞
候様子ニ相見得候付、本之之通也、
此中之通八ツ□□ハ熱差発候処、昨日ハ
輕有之、酉時□□□□ほと相さめ候事、

一 六日ハ煎薬差扣候筋、医者中
相談相決被置候処、昨日ハはら相滞
候様子ニ相見得候付、本之之通也、
此中之通八ツ□□ハ熱差発候処、昨日ハ
輕有之、酉時□□□□ほと相さめ候事、

弥相決候事、

一 今日も八ツ時分熱差発候処、昨日ハ少□

相増、夫長ケ気分等も昨日ほと者相勝

不申、然者昨日迄者日増熱も薄罷成、

食事等も相進気分も宜候処、何様之儀ニ而

右通熱さめ兼可申哉、吟味仕候処、昨晚

春もち一切砂糖付候而給候由、夫故はら

滞熱もさめ兼申積与吟味仕候事、

一 医者衆長々看脈不被致由ニ而、無心元

候間、此方ハ様子次第入来給度、且今日

母親御□滞ニ付而ハ、高宮城くすり

相用被□候間、弥明日ハ宜寿次も被罷出、

此方江も入来、婦脈体等得与被相何度、

頼入候事、

一 五日、高宮城筑登之親雲上四ツ過時分被罷出、脈体

見候而、昨日ハ腹滞有之候付、くすり二袋

調合被致候事、

一 五・六日ハ煎薬差扣候筋、医者中

相談相決被置候処、昨日ハはら相滞

候様子ニ相見得候付、本之之通也、

此中之通八ツ□□ハ熱差発候処、昨日ハ

輕有之、酉時□□□□ほと相さめ候事、

一 右くすり一 (虫喰) 給候処、兎角腹中受

不申不心地 □□□□ 相見得候処、漸々心地
宜相成候付、七ツ過時分二番せんし給候処、
是又吐暫不気色相成候処、兎角相応

不致様子ニ相見得候事、

一六日、朝の気分直、食事・咳嗽等も快相見得、早晚

之通八ツ前を熱差発候処、熱勢輕酉時分る者

餘ほと相さめ、日中気分相勝、生年立願ニ付而

客人も多候処、夫々挨拶も相応有之、いつれも

喜悦之至候事、

一今日ハ立願付、客人多有之候処、□□階江相

うつり候事、

一 朝めし魚塩煮之汁かて物ニ而相応ニ給候由、

ふるひ病之儀ハ、生魚之汁給候得者熱薄

有之由申事候処、婦儀も魚汁給候日ハ

熱よわく有之候様相見得候間、不断給

候様可仕旨、申達候事、

一七日、今日も諸事昨日同断、八ツ時分る熱差発

候得共輕有之、七ツ時分るハ余ほと相さめ、追日

さめも早々相成候様、相見得候事、

一酉時分る少々は相滞、熱少々相残候□

有之吟味仕候処、いも粉もち一ツ給候由、

一 右くすり一 (虫喰) 給候処、兎角腹中受

不申不心地 □□□□ 相見得候処、漸々心地

宜相成候付、七ツ過時分二番せんし給候処、

是又吐暫不気色相成候処、兎角相応

不致様子ニ相見得候事、

一六日、朝の気分直、食事・咳嗽等も快相見得、早晚

之通八ツ前を熱差発候処、熱勢輕酉時分る者

餘ほと相さめ、日中気分相勝、生年立願ニ付而

客人も多候処、夫々挨拶も相応有之、いつれも

喜悦之至候事、

一今日ハ立願付、客人多有之候処、□□階江相

うつり候事、

一 朝めし魚塩煮之汁かて物ニ而相応ニ給候由、

ふるひ病之儀ハ、生魚之汁給候得者熱薄

有之由申事候処、婦儀も魚汁給候日ハ

熱よわく有之候様相見得候間、不断給

候様可仕旨、申達候事、

一七日、今日も諸事昨日同断、八ツ時分る熱差発

候得共輕有之、七ツ時分るハ余ほと相さめ、追日

さめも早々相成候様、相見得候事、

一酉時分る少々は相滞、熱少々相残候□

有之吟味仕候処、いも粉もち一ツ給候由、

夫二而相滞候哉、喰物別而相慎不申候而
不叶段、申達置候事、

一 同日八日、今日者朝の気色相勝不申様相見得候処、
朝めし此中之半分ほど給、熱も八ツ前此内
少せはやく差発候処、熱勢強有之難儀之体二
相見得、七ツ半時分る者漸々相さめ候へ共、夜入候も
相残、夜飯ハ魚塩煮かて物二而、中茶碗半分
ほど給候付、漸々気分快相成候事、

一 此内者魚之汁給候処、今日ハ不有合、かて物
氣三叶不申、めし進兼候事、

一 此内者氣分・食事・熱勢も日増宜体
相見得候処、何様之障にてとへ候哉、吟味仕候処、

食事此内者相減候処、熱も強さめも
うすく、夫長ケ気分も相勝不申積与、
幸地親方も御出会二而吟味仕候事、

一 九日、今日ハ朝の気分宜、朝飯ハ魚塩煮かて
もの二而、めし中茶碗七分ほど給、昼も
糝一わん、夜飯も粥一椀給、早晚之通八ツ前
熱差発候得共軽く有之、早々あし出醒はやく、
旁宜相見得候事、

一 一かわきも昨日ハ余ほどうすく有之候、
一 一足之はり、昨日ハ此内者はり立候処、今日者

格別引候事

十日、名城親雲上・仲程筑登之親雲上八ツ時分ニ罷出、看脈被給候処、脈体ハ去四日見被申る宜有之由、乍然右脈ニ少々相滞候様相見得候由被申候、且又名城被申候者、氣分・食事等ハ宜相通得共、八ツ時分も発熱長々相止不申候而者、草臥も相付申付候間、猶又くすり相用候而ハ如何之由被申候付、弥同意ニ存段々致相談候処、煎薬之儀ハ頻ニ断之由申候付、夫程いやかり候ハ、先氣分彼是宜相通り候間、差扣候筋可然与相決候事、

一八ツ時分も熱差発候処、此さめかね候様有之、何様之障りニ而右通候哉与吟味仕候処、今日者脈ニ滞有之候由、名城被申候、如何様夫故熱醒兼可申由、いづれも申事候、一食事・氣分大概昨日之通相見得候、但、昼めしハやまとみそ細とうふ汁

十一日、夜前者目醒候而然々寝不申、四ツ時分起あかり候処氣分不相勝、朝粥給候処、あんはい氣ニ叶不申、め中茶碗七分ほと、みそかて物ニ而

格別引候事

十日、名城親雲上・仲程筑登之親雲上八ツ時分ニ罷出、看脈被給候処、脈体ハ去四日見被申る宜有之由、乍然右脈ニ少々相滞候様相見得候由被申候、且又名城被申候者、氣分・食事等ハ宜相通得共、八ツ時分も発熱長々相止不申候而者、草臥も相付申付候間、猶又くすり相用候而ハ如何之由被申候付、弥同意ニ存段々致相談候処、煎薬之儀ハ頻ニ断之由申候付、夫程いやかり候ハ、先氣分彼是宜相通り候間、差扣候筋可然与相決候事、

一八ツ時分も熱差発候処、此さめかね候様有之、何様之障りニ而右通候哉与吟味仕候処、今日者脈ニ滞有之候由、名城被申候、如何様夫故熱醒兼可申由、いづれも申事候、一食事・氣分大概昨日之通相見得候、但、昼めしハやまとみそ細とうふ汁

十一日、夜前者目醒候而然々寝不申、四ツ時分起あかり候処氣分不相勝、朝粥給候処、あんはい氣ニ叶不申、め中茶碗七分ほと、みそかて物ニ而

後免一、九時分給事、汗かくて物二而めし
 給候処、むねにつかい候心地ニ而、則吐捨候由、
 一八ツ時分熱出候処、最中ニ者熱勢相応ニ
 有之候処、粥給候付、汗出、七ツ過ニハよほと
 相さめ、酉時分氣分宜罷成候事、
 一熱勢ハ昨日同様候得共、昨日余ほと
 はやく相さめ候事、
 一十二日、今日も食事・氣分等此中之通宜ク
 相通り、八ツ前熱差発、酉時分ハ余ほと
 相さめ候事、
 一七ツ時分熱もいまた相さめ不申内、むねニ
 滞有之由申候付、何様之儀ニ而右通候哉与
 吟味仕候処、早々汗出シ候働ニ而、みそ汁三わん・
 粥二わん・立茶四わん計給候由、如何様
 右通沢山ニ給所、むねにむたへ候半与、
 いつれも申談候事、
 一幸地殿内魚煮ひたし被下候付、
 かて物ニ而めし中茶わん七分ほど給
 候事、
 一幸地親方・同御室御出、療治方御相談
 いたし候事、
 一十三日、朝より別而氣分相勝、朝飯も幸地殿内

一、二日、今日も食事・氣分等此中之通宜ク
 相通り、八ツ前熱差発、酉時分ハ余ほと
 相さめ候事、
 一七ツ時分熱もいまた相さめ不申内、むねニ
 滞有之由申候付、何様之儀ニ而右通候哉与
 吟味仕候処、早々汗出シ候働ニ而、みそ汁三わん・
 粥二わん・立茶四わん計給候由、如何様
 右通沢山ニ給所、むねにむたへ候半与、
 いつれも申談候事、
 一幸地殿内魚煮ひたし被下候付、
 かて物ニ而めし中茶わん七分ほど給
 候事、
 一幸地親方・同御室御出、療治方御相談
 いたし候事、
 一十三日、朝より別而氣分相勝、朝飯も幸地殿内

せんしゆ之汁被下候付、かて物ニ而飯此内之通
給、母親様も御出被成候付、座ニ罷出致御咄共、
四ツ時分熱出候得共輕有之、七ツ前より
汗出、さめもよほとはやく、此内も別而快
相見得候事、

一 汗出候様ニ者粥之湯・みそ汁など二・三わん

給候而、昼めしハ給不申、夜飯ハしんしゆ

之汁ニめし中茶碗七分ほど給候也、

一 熱発散したため、粥之湯・みそ汁など

多給候故ニ而候哉、晩方ハはら滞候由ニ而、

はんこんたん給候事、

十四日、朝之間ニ少々色体ニ相見得候処、朝飯相応ニ

給候而氣分宜罷成、此内者腹滞有之、加籠ニ

かくれ幸地殿内江参り候ハ、滞もめくり候而

可然候間、少々今日殿内江参り度由申出、折節

幸地親方も御出、昨今氣分ハ別而相勝候間、

参り候而も年遣之儀ハ無之候得共、今日ハ天氣

あしく風立候間、明日方天氣見合可参由、

親方・私ニ而申達候得共落着無之、強而止候而ハ

却而不氣色相成候様子ニ相見得候付、弥望

之通参らせ可申旨、相達候事、

但、本文之次第名城江も相談いたし候処、

衣裳厚着候而、加籠雨覆ニ而包候ハ、少も
差障ハ無之由被申候付、弥相決候間、八ツ頭
時分出立候事、

一名城親雲上八ツ頭時分被罷出、看脈被致
候処、脈性者先比宜罷成申候処、余ほと
はらつかい申候間、煎薬相用不申候而不叶由
被申候付、弥同意存候間、調合給度由申候付、
二袋調合致被候事、

一八ツ過時分、幸地殿内江参り候処、昨日同断
別而気分も相勝、八ツ時分熱出候処、是又
昨日之通熱勢よわく、さめもはやく
有之由、

一夜入候而野原にや差遣安否相尋候処、
夜飯も中茶碗七分ほど給、せん薬も
一番半分程給候処、心地宜吐も不致由、
申来候事、

一仲程筑登之親雲上ハ、宇地泊村不被差越候而不叶儀
有之由ニ而、不罷出候、

一高宮城筑登之親雲上ハ注進次第可罷出由有之
候処、名城親雲上内用有之由ニ而、今日罷出候儀
断之由有之候処、真加戸江も此程煎薬
いやかり候処、今日者煎薬請合候間、一刻

衣裳厚着候而、加籠雨覆ニ而包候ハ、少も
差障ハ無之由被申候付、弥相決候間、八ツ頭
時分出立候事、
一名城親雲上八ツ頭時分被罷出、看脈被致
候処、脈性者先比宜罷成申候処、余ほと
はらつかい申候間、煎薬相用不申候而不叶由
被申候付、弥同意存候間、調合給度由申候付、
二袋調合致被候事、
一八ツ過時分、幸地殿内江参り候処、昨日同断
別而気分も相勝、八ツ時分熱出候処、是又
昨日之通熱勢よわく、さめもはやく
有之由、
一夜入候而野原にや差遣安否相尋候処、
夜飯も中茶碗七分ほど給、せん薬も
一番半分程給候処、心地宜吐も不致由、
申来候事、
一仲程筑登之親雲上ハ、宇地泊村不被差越候而不叶儀
有之由ニ而、不罷出候、
一高宮城筑登之親雲上ハ注進次第可罷出由有之
候処、名城親雲上内用有之由ニ而、今日罷出候儀
断之由有之候処、真加戸江も此程煎薬
いやかり候処、今日者煎薬請合候間、一刻

一 昨日は夜も寝られず、今日も寝られず、

十日の夜、地江罷出、今日も相成候、

而是、腹中、余れ、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

一 昨日は痰吐り、

被罷出度由差遣候付、被罷出、急ニ相成候而
高宮城ハ相招不申候、

一十五日、八ツ頭時分幸地江罷出、今日之様体委細
相尋候処、食事・咳嗽・気分等此内之通宜相通、

面足之腫気も余ほと引候而、大概常之通
様ニも相見得候事、

一 此内者痰吐候も少罷成候処、昨日煎薬
給候而る痰多吐、若くすりニ而相応

不致儀も可有之哉与、自分江ハ相疑敷
申候付、是を此内滞之痰廻り候而、多

出候積ニ而、葉驗有之次第ニ而宜筋ニ而候間、
少も相疑間敷由、申達候事、

一 一ほら之魚大小五本、那覇市より買入
もたせ遣候事、

一十六日、夜前ハ咳嗽殊之外強及難儀候処、
四ツ過ニも可罷成哉、朝めし給候半、さつくい強

いたし、血もろし相交痰仕候由承、驚人早速
私も幸地江罷出見候得者、気分も相勝り不申、

痰ニ交候血酉時分迄もかしも相見得候事、
一名城・仲程・高宮城江も被罷出候事、

一 八ツ過時分る熱出、七ツ過る漸々よわく
相成、咳嗽も晩方者間遠相成候、

一食事ハ昼艾糝中茶わん八分程、夜飯者
 糝中茶わん七八分程、一口はかり相残候由、
 一薬之儀別而相きらい候付、強而相用候様ニも
 不相成、込入たる事候、乍然去月廿一・二日比
 相用候くすりニ而、咳嗽三分二ほと相へり、
 服前驗氣有之候付、是配濟相用度
 存候、弥同意ニ被存候ハ、真加戸江者随分落着
 いたし候様致相談答候由申候付、弥同意ニ而
 名城親雲上さしニ而一袋調合被致候付、
 真加戸江右之趣得与申聞候付、いやながら
 請合申候事、

一宜寿次親方ハ童便相用候而者如何候哉
 存寄有之、医者三人も別而同意ニ而、
 則る相用候様相達候、然者童便煎薬
 一同相用候而者如何候間、童便相用漸々
 快相成候ハ、煎薬ハ先差扣候様、いつれも
 相談相決候事、

但、本文之通之次第、相談ニ而煎薬ハ相用
 不申、

一十七日、昨日之様体ニ而者夫程咳嗽強差起り
 □付而者、急ニ相へり不申積与念遺存候処、
 思之外夜前ハさつくいも大概此中之通相止、

昨日寢申候由、夫故氣分も昨日与拔群相替
得与寢申候由、夫故氣分も昨日与拔群相替
□相見得候得とも、昨夜難儀いたし候故、此中
之通ハ氣分相勝不申候、

一 痰吐りし候候も余ほと少く罷成候得共、血少

ありし候候も昨夜さうく余り強く有之
はら動かし候付、残血出候半与申候、

一 食事ハ朝・昼間・晩共此中ニ相替儀無之、
能進候事、

一 名城・仲程用事ニ付不被罷出候、高宮城者
入相時分被罷出見脈被致候処、脈ハ昨日の
格別宜有之、熱も時日今時分る相とめ候由、

一 今日登城可仕之処、幸地江見舞不致候而

不叶、其上弁財天・そのひやう御嶽江立願
之企有之、御暇乞申上候事、

一 七ツ時分、宜寿次親方・私弁財天江罷出、
亭坊主相頼講談させ、四ツ拜相濟その

ひやふ参り立願相濟、円覚寺江参り

此中立願仕置候三御訟江御香上
御拝仕候事、

附、幸地親方ハ本文之御願所江兼而

立願相濟、いまた直三者参詣不成由ニ而、
御同心ニ而御拝被成候事、

御同心ニ而御拝被成候事、

一 小□之肴一喉差遣候事

一 伊江親之代合之候も、罷登候様奉訟相濟候付、
下代前田四ツ頭時分久志間切江差立候事、

一 十八日、食事者此中之通、咳嗽も餘ほと相止

候処、西時分風立天氣あしく罷成、病氣ニ
差障儀も可有之哉与念遣存、急ニ幸地江罷出

候処、西前ハさつくいたし相増候由有之候付、

火鉢ニ寢座近辺ニ居させ、ふんとんも内江相拵

させ候事、

一 高宮城筑登之親雲上四ツ時分被罷出、看脈被致

候処、昨日ハ随分宜有之候由、

一 □□ことりニ而調合いたし候痰之くすり

相調候付、取寄少々□ニ含候処、心地宜有之由、

一 熱八ツ前ハ出、晩方者よわく候得共、

夜之四ツ時分迄然与相さめ不申、脈体ニも

熱相残候由、高宮城被申候、

一 泉水ニ入置候鯉一本取候もたせ候事、

一 今夜八ツ時分、悴伊江里之子親雲上罷出候事、

一 十九日、高宮城筑登之親雲上御番ニ付、朝晩兩度

御雇申上、四ツ時分より被罷出脈被相伺候処、

脈体者宜相通候処、夜前ハ之熱相残候由

被申候、

一 朝めし魚之塩煮給候内者熱もうすく

さめもはやく有之様取覚有之、其段御相談

いたし、今日朝めし塩魚かて物ニ而めし

相応ニ給候処、弥熱輕有之、味噌汁・粥など

給候付、汗出熱漸々うすく罷成、夜入

時分ハ熱寸切与相さめ候由、

一 大小便も順々相通候事、

一夜前、今朝之痰出し候水飜見候処、痰の

色有之吟味仕候処、血之色ニ而者無之、反魂丹

など、相見得候事、

一 廿日、昨晚より大風吹出、雨も無絶間ふり候付、

病氣ニ差障り可申哉与甚及世話候処、五ツ頭時分

幸地親方御遣、天氣悪敷候得共何ぞ

不差障、夜前も得与寝候而氣分も宜有之由

被仰聞、安心仕候事、

一 四ツ過時分、私も幸地江罷出委敷様子

相尋候処、最前阿波根里之子親雲上差遣承候通、

風雨降候得共何ぞ不差障、氣分宜相見得

候得共、小便之儀朝迄相応ニ通候処、夫より

両度計通候処、分少夫故ニ而候哉、面ニ腫氣

相見得、万水腫症ニ罷成候而、如何之儀ニ而

段々相談仕候処、煎薬者相きらひ候付、

一 朝めし魚之塩煮給候内者熱もうすく

さめもはやく有之様取覚有之、其段御相談

いたし、今日朝めし塩魚かて物ニ而めし

相応ニ給候処、弥熱輕有之、味噌汁・粥など

給候付、汗出熱漸々うすく罷成、夜入

時分ハ熱寸切与相さめ候由、

一 大小便も順々相通候事、

一夜前、今朝之痰出し候水飜見候処、痰の

色有之吟味仕候処、血之色ニ而者無之、反魂丹

など、相見得候事、

一 廿日、昨晚より大風吹出、雨も無絶間ふり候付、

病氣ニ差障り可申哉与甚及世話候処、五ツ頭時分

幸地親方御遣、天氣悪敷候得共何ぞ

不差障、夜前も得与寝候而氣分も宜有之由

被仰聞、安心仕候事、

一 四ツ過時分、私も幸地江罷出委敷様子

相尋候処、最前阿波根里之子親雲上差遣承候通、

風雨降候得共何ぞ不差障、氣分宜相見得

候得共、小便之儀朝迄相応ニ通候処、夫より

両度計通候処、分少夫故ニ而候哉、面ニ腫氣

相見得、万水腫症ニ罷成候而、如何之儀ニ而

段々相談仕候処、煎薬者相きらひ候付、

本用

後、予が喰物の内、味は、難か
行の、くもり、塩煮、反飯、
も、給候事

一 昼時分は、つかい候由、反魂丹相用候付、
追付つかい下り候由

一 真珠丸もつかいなどに相用候由、能書にも
相見得候付、試二ツ相用させ候処、心地宜ク
有之由三而、両度給候由、

一 朝飯ハ此中之通給候処、昼飯ハかけん二而此内も
半分ほど給候処、今日ハはらつかい候間食事ハ
減少の方可然由、申談候由、

一 一夜之九ツ時分、私逢可申由様子有之、内江
罷通、高宮城も一同参り看脈被致候処、
脈体ハ弥宜相通り熱もさめ候由承候付、
帰宅いたし候事、

一 此以前かさめ殊之外相望候処、功能然与
相知不申候間差免不申候処、高宮城本草
被相札候処、何ぞ差障ハ無之由候付、此方又者
幸地の方々求方申付候事、

一 高宮城筑登之親雲上朝晩御雇申上、高宮城ハ夜前
幸地江相詰候而朝脈見申候処、脈体宜相通候由、
左候而高宮城西時分罷出候約束二而登 城

相用候様にも罷不成、喰物之内吟味仕候処、鯉別而
利水之くすり二而、塩煮二而夜飯かて物二而
相応ニ給候事、

一 昼時分はつかい候由二而、反魂丹相用候付、
追付つかい下り候由、

一 真珠丸もつかいなどに相用候由、能書にも
相見得候付、試二ツ相用させ候処、心地宜ク
有之由三而、両度給候由、

一 朝飯ハ此中之通給候処、昼飯ハかけん二而此内も
半分ほど給候処、今日ハはらつかい候間食事ハ
減少の方可然由、申談候由、

一 一夜之九ツ時分、私逢可申由様子有之、内江
罷通、高宮城も一同参り看脈被致候処、
脈体ハ弥宜相通り熱もさめ候由承候付、
帰宅いたし候事、

一 此以前かさめ殊之外相望候処、功能然与
相知不申候間差免不申候処、高宮城本草
被相札候処、何ぞ差障ハ無之由候付、此方又者
幸地の方々求方申付候事、

一 高宮城筑登之親雲上朝晩御雇申上、高宮城ハ夜前
幸地江相詰候而朝脈見申候処、脈体宜相通候由、
左候而高宮城西時分罷出候約束二而登 城

石村の送や、りし頭痛、午後、夜、
暇乞有之由

一私事夜前はら合不宜、七ツ時分幸地江
真加戸見申候処、熱著昨日同遍よわく
有之由、昨日者腹相滞小便通兼、夫故
面足腰はら之辺も少々腫氣相付候様ニ
有之候処、今日ハはらめくり小便も少候へ共
晩迄三・四度通し、面も少々腫氣引候様
相見得候、

一朝飯ハ、鯉之塩煮かて物ニ而麦飯中茶碗
八分ほど給、少し残候由、

一昼めしハかさめさしみニ而糝一飯給候事、
一夜めしもかさめ、

一かさめ求方之儀、豊見城・小祿・真和地・浦添
四ヶ間切各檢者江、伊江里之子親雲上手紙ニ而頼越
置候処、真和地間切中形三甲、浦添間切
小形三甲持来候付、早速幸地江差遣
候事、

一此内より腹ニ滞有之候付、真珠丸相用候而
別而相応いたし候処、所持之等相痛候付、兼城
親方一袋もらへ、則持参ニ而相渡置候、
右くすり為求方、岡村筑登之親雲上那覇江差遣候付、

右くすり為求方、岡村筑登之親雲上那覇江差遣候付、

右くすり為求方、岡村筑登之親雲上那覇江差遣候付、

右くすり為求方、岡村筑登之親雲上那覇江差遣候付、

酉時分迎やり候処、頭痛いたし難罷出由ニ而、
暇乞有之由、

一私事夜前はら合不宜、七ツ時分幸地江
真加戸見申候処、熱著昨日同遍よわく
有之由、昨日者腹相滞小便通兼、夫故
面足腰はら之辺も少々腫氣相付候様ニ
有之候処、今日ハはらめくり小便も少候へ共
晩迄三・四度通し、面も少々腫氣引候様
相見得候、

一朝飯ハ、鯉之塩煮かて物ニ而麦飯中茶碗
八分ほど給、少し残候由、

一昼めしハかさめさしみニ而糝一飯給候事、
一夜めしもかさめ、

一かさめ求方之儀、豊見城・小祿・真和地・浦添
四ヶ間切各檢者江、伊江里之子親雲上手紙ニ而頼越
置候処、真和地間切中形三甲、浦添間切
小形三甲持来候付、早速幸地江差遣
候事、

一此内より腹ニ滞有之候付、真珠丸相用候而
別而相応いたし候処、所持之等相痛候付、兼城
親方一袋もらへ、則持参ニ而相渡置候、
右くすり為求方、岡村筑登之親雲上那覇江差遣候付、

右くすり為求方、岡村筑登之親雲上那覇江差遣候付、

右くすり為求方、岡村筑登之親雲上那覇江差遣候付、

右くすり為求方、岡村筑登之親雲上那覇江差遣候付、

町屋其外御飯屋方江も御持合無之候付、
我如古里之子親雲上の一袋もらへ、晩方持登候付、
悴江相渡置候事、

一 大便登、三度夜中二度三而五度いたし、
水下しはら二相成候而、如何候間、甘物などハ
差扣候様、申談候事、

一 廿二日、四ツ過時分幸地江罷出、親方ハ様子承
内江も罷通見候処、夜夕得与休ミ且昨日

一 朝飯、鯉塩煮汁ニ原鳥かて物ニ而中茶わん
八分ほど給、少相残し候由、

一 晩方幸地江罷出様子承候処、八ツ時分ハ
熱出候処、汗出不申故熱もさめ兼、夫故

一 七ツ時分ハ咳嗽繁ク気分も相勝不申
由候処、夜之四ツ過る漸々咳嗽相止、寝
申候事、

一 一夜之四ツ過時分、親方ハ様体見分被成
候処、一面之腫氣相まし、気分も相勝
不申由、

一 一夜之九ツ過時分帰宅申候処、八ツ過ニも
為相成哉、親方ハ供松田にや遣を以被仰聞候者、
今先目覚ニ而糝茶碗半分程給候処、

氣分快罷成、今朝之様体不相替此有之候間、心安被罷在由被仰聞候事、

一 今朝之夜之五ツ時分迄小便二合通候事、

一 廿三日、今日五ツ過時分幸地江罷出様体見申候処、昨日ハ氣分宜相見得候得共、小便通し少く面之腫氣然々引不申候、乍然氣分ハ快相見得候付、登 城いたし候事、

一 一七ツ時分罷出見申候処、朝ハ氣分宜相見得候事、

一 東江にや那覇江差遣、生魚二枚買入持登候付、則もたせ候処、朝めし間合別而氣ニ叶給候也、

一 高ニ叶給候也

一 一七ツ頭時分ハ熱出候得共輕有之、汗出候而漸々相さめ候由、昨日者汗出不申故熱さめかね、夜之四ツ時分迄咳嗽強ク有之難儀之体候処、今日ハ汗出はやく相さめ候儀、塩煮汁給候験ニ而可有之与存候事、

一 十四日、名城里之子親雲上煎薬二袋調合、十四日・十五日相用候処相応不致、夫ハ煎薬相さらひ候処、本文之通今日・明日くすり請合給候事、

一 今日ハ高宮城筑登之親雲上ハ前薬之儀色々申

一 一七ツ時分ハ熱出候得共輕有之、汗出候而漸々相さめ候由、昨日者汗出不申故熱さめかね、夜之四ツ時分迄咳嗽強ク有之難儀之体候処、今日ハ汗出はやく相さめ候儀、塩煮汁給候験ニ而可有之与存候事、

氣分快罷成、今朝之様体不相替此有之候間、心安被罷在由被仰聞候事、

一 今朝之夜之五ツ時分迄小便二合通候事、

一 廿三日、今日五ツ過時分幸地江罷出様体見申候処、昨日ハ氣分宜相見得候得共、小便通し少く面之腫氣然々引不申候、乍然氣分ハ快相見得候付、登 城いたし候事、

一 一七ツ時分罷出見申候処、朝ハ氣分宜相見得候事、

一 東江にや那覇江差遣、生魚二枚買入

持登候付、則もたせ候処、朝めし間合別而氣ニ叶給候也、

一 一七ツ頭時分ハ熱出候得共輕有之、汗出候而漸々相さめ候由、昨日者汗出不申故熱さめかね、夜之四ツ時分迄咳嗽強ク有之難儀之体候処、今日ハ汗出はやく相さめ候儀、塩煮汁給候験ニ而可有之与存候事、

一 十四日、名城里之子親雲上煎薬二袋調合、十四日・十五日相用候処相応不致、夫ハ煎薬相さらひ候処、本文之通今日・明日くすり請合給候事、

一 今日ハ高宮城筑登之親雲上ハ前薬之儀色々申

もろくも病氣を治しては、
夜入候而一袋調合いたし、五ツ過時分
せんし候而二度ニ相用候処、此前ニ相替
腹中相応いたし候由、自分も申出追而
得与休ミ候付、帰宅いたし候事、

一 廿四日、今朝供野原にや差遣安否相尋、親方も
四男幸地し御遣様体承候処、今日ハ気分
宜有之由承、九ツ頭時分罷出見申候処、
気分ハ宜相見得候得共、腫氣も少々引候様
有之候処、小便通し少腹之滞もいまた
くめり不申由、

一 今朝、昨日調合いたし候薬候由、
一 熱八ツ過時分差発輕有之候処、夜之
四ツ過迄相さめ不申、何様之儀ニ而右通候哉、
吟味仕候処、そは切少々給候処、夫故さめ兼
可申哉、又ハはら滞有之右通候哉、然与
相分り不申、

一 朝めしハ魚塩煮之汁めし此中之通り
給候由、
但、生魚一枚差遣候事、
一夜之四ツ過時分、小便壺合二三勺程通し、
はら合宜、今朝も只今小便迄相例候処、

之合七八勺も有之由、昨日ハ□など員数
相重候事、

一高宮城晩方被罷出看脈被致、昨日之
配濟利水專ニいたし候処、はら之滯快

無之候付、はらくめり候向ニ配濟相直、四ツ時分
相用候事、

一月たん長老御頼、祈祷并一代星之
御願被相勤候事、

一嫡子喜名里之子謝名江差遣、西森御嶽
森之川其外御願所立願仕、入相時分

幸地江罷登候付、みはな頂せ候事、

一廿五日、今日朝之間之御暇乞ニ而幸地見廻いたし
候処、夜前小便はら合も宜、面手足之腫氣も

少々引候而、気分相勝候事、

一八ツ時分を熱出候得共漸々相さめ、夜前ハ
はやく相さめ候事、

一朝飯ハ此方々差遣シ、魚塩煮ニ而めし
此内之通給候也、

但、此中かうちや米給候処、私を相談いたし
今日ハ白ひき米給候由、

一腹痛も宜候得共、いまた得与めくり不申由、
一今日晩方も見舞仕考候処、用事有之

一二月廿五日、幸地見廻いたし候処、夜前小便はら合も宜、面手足之腫氣も少々引候而、気分相勝候事、

一朝飯ハ此方々差遣シ、魚塩煮ニ而めし此内之通給候也、

但、此中かうちや米給候処、私を相談いたし今日ハ白ひき米給候由、

一腹痛も宜候得共、いまた得与めくり不申由、

一今日晩方も見舞仕考候処、用事有之

夜入候而、今日ハ氣分彼是宜ク相通り候間、
見舞ニ不及由被示聞趣有之、罷出不申候、
一廿六日、四ツ時分幸地江罷出見之候処、昨日同断
氣分宜相見得候事、

一 朝此方ハ差遣候魚之塩煮かて物ニ而、
めし中茶碗七分ほど給候事、

一 此内之くすりハ専腹めぐらし候向之
配濟ニ而候処、脾養之方ニも無之候而
不叶由ニ而、右之配濟ニ而老袋調合相用
候事、

一 廿七日、御出仕ニ而早々登城いたし、八ツ後
罷出様体相尋候処、諸事昨日同断宜相通
候処、早晚之時分ハ熱差発、天氣あしく
故候哉、汗出不申、熱さめ兼小便通し少、
下腹殊之外相滞、酉過時分ニ者むねさはし候而
目もくらく有之由候付、驚入候処、夜入候而
高宮城老ニ而配濟相直一袋相用候処、影而
小便壺合五勺ほど相通、夫よりはらも食も
めくり候而、得与寝候付、夜之八ツ時分掃宅
いたし候事、

一 今日ハ天氣あしく、生魚不有合薄塩之
魚ニ而塩煮いたし候処、給不申、大かい之汁

一 廿七日、御出仕ニ而早々登城いたし、八ツ後
罷出様体相尋候処、諸事昨日同断宜相通
候処、早晚之時分ハ熱差発、天氣あしく
故候哉、汗出不申、熱さめ兼小便通し少、
下腹殊之外相滞、酉過時分ニ者むねさはし候而
目もくらく有之由候付、驚入候処、夜入候而
高宮城老ニ而配濟相直一袋相用候処、影而
小便壺合五勺ほど相通、夫よりはらも食も
めくり候而、得与寝候付、夜之八ツ時分掃宅
いたし候事、

かくも... 汗出... 汗出不申熱さめかね候半与、吟味仕候、
 一汗出不申熱もさめ兼、且はらも滞候故、
 面・手足・身体も腫氣相まし候様相見得候、
 一夜之四ツ時分る小便能相通し、はら
 めくり、氣分も宜相成候事、
 一夜中之小便相例候処、七合ほと有之由、
 翌廿八日朝、忪る供松田にや差遣承
 候事、

夜中... 咳嗽等此内之通不相替
 候得共、昨日之草臥相残候哉、氣分ハ相勝不申、
 一八ツ時分熱差発候処、輕有之さめもはやく、
 夜之四ツ時分二者寸切与相さめ候事、
 一昨日る腫氣相まし、夜前ハ小便七合程
 相通候処、腫氣ハ然与引候体不相見得
 候事、

一今日も小便少、日中二合通候事、
 但、夜中ハ六合通し候由、
 一名城親雲上折角相催候処、不快ニ付不被罷出候、
 一高宮城被申候者、今日之様体相考候処、
 右脈弱有之、脾之草臥ニ相見得、其上
 此内□時者目くらやみ候由、是又根氣不足

一今日も小便少、日中二合通候事、
 但、夜中ハ六合通し候由、
 一名城親雲上折角相催候処、不快ニ付不被罷出候、
 一高宮城被申候者、今日之様体相考候処、
 右脈弱有之、脾之草臥ニ相見得、其上
 此内□時者目くらやみ候由、是又根氣不足

筋相見得候間、是非共人參相用候方
 可然与被申候付、幸地親方・私江も相談
 仕候処、此程自分補之くすり殊之外
 相きらひ、且兩三度差障り候体も見及
 候付而者、難相決、段々吟味仕候処、兩日者
 兎角草臥之体ニ相見得、且高宮城も
 此配済之儀、かうしや六君子湯与申候而、
 惣体めくらし候薬品ニ而、人參一品□
 補之くすりニ候得者、熱咳嗽など相まし□
 曾而無之由被申候付、親方私江も同意
 いたし、条人參壹分入、夜之八ツ時分相用
 候事、

候事

一人參者湯せんし三而煎薬二人候事、
 一今日ハ無心元有之、幸地江とまり翌朝
 帰宅いたし候事、

廿九日、夜前者幸地江止宿、朝五ツ前内江罷通
 見候処、別而氣分宜、腫氣ハ昨日同様相見得
 候処、腹之辺ハ引候由自分申候、右之次第
 承、四ツ頭時分帰宅いたし候事、
 一朝飯も此中之通かたかす魚塩煮汁
 二而給候也、

一夜前八ツ時分、煎薬二人參壹分入相用
 候事、

今日九ツ(時分)同壺分入相用、何之障りも
無之、氣分相勝候間、相応いたし候積与吟味
仕候、

一私事、七ツ時分幸地江罷出、名城親雲上、
高宮城筑登之親雲上も被罷出看脈被致候処、
昨日之配濟名城も同意之由、こきやう与云
薬一品名城存寄を以相加、高宮城調合
いたし、人參壺分五リ相加、夜之九ツ時分
相用候事、

一名城江脈体之様子相尋候処、脈体ハ先日
弱相見得候由、

一小便日中ニ五合ほど、夜中ニ(三カ)合九勺、
但、昼夜ニ而八合九勺、

一卅日、早朝野原にや差遣安否相尋候処、悴并
次男幸地里之子親雲上を返答之趣者、夜前者九ツ
頭時分煎薬相用候処、咳嗽も少く得与寝候付、
今日ハ氣分相勝、糝一飯給候由、
但、煎薬ニ人參壺分五リ相加候事、

一四ツ過時分罷出見候処、昨日ハ氣分宜相見得
朝めしも早晚之通塩煮汁かて物ニ而給候、
左候而譜久山殿内江罷出御用御相談相濟、
七ツ時分(幸地)江罷出候処、八ツ後ハ熱差発、

一昨日ハ氣分相勝、糝一飯給候由、
但、煎薬ニ人參壺分五リ相加候事、

一昨日ハ氣分相勝、糝一飯給候由、
但、煎薬ニ人參壺分五リ相加候事、

一昨日ハ氣分相勝、糝一飯給候由、
但、煎薬ニ人參壺分五リ相加候事、

一昨日ハ氣分相勝、糝一飯給候由、
但、煎薬ニ人參壺分五リ相加候事、

一昨日ハ氣分相勝、糝一飯給候由、
但、煎薬ニ人參壺分五リ相加候事、

一昨日ハ氣分相勝、糝一飯給候由、
但、煎薬ニ人參壺分五リ相加候事、

氣分も最前□様(之カ)二者相勝不申候、

一 熱勢ハ昨日同断弱有之、夜之五ツ時分相さめ申候事、

一 小便日中三合ほど相通、熱以しふり候様、相見得候事、

一 一夜入候而見候得者、面之腫氣ハ朝々相まし候様、相見得候事、

一 一夜飯ハ小豆めし・鯉之はらに小豆(入カ)□
むし而給候事、

但、利水之くすり与て右通相用候事、

一夜之四ツ半時分、人参五分五リ入煎薬給候事、

一 高宮城筑登之親雲上被罷出看脈被致候処、脈体ハ昨日同断候得共、氣分彼是相考候得者、其外宜筈与被申候也、

九月中

九月中

一 四ツ頭時分、名城親雲上・高宮城筑登之親雲上被罷出看脈被致候処、一昨日脈体者宜有之由、

一 朝めし塩煮汁めし中茶碗七分ほど入給候処、此中々残置候分多、食事

不足様相見得候得共、朝者糝一碗・たす少々

□^(め)し少給□、朝飯ハ些不進三有之由、

一 大 便 所 三 而 通 候 由

但、大便所三而通候由、

一 九 九 頭 時 分 〇 〇 差 発、夜之四ツ過時分寸切与

相さめ、昨日の熱長引さめうすく有之由、

但、此中八ツ時前後の熱出候処、今日者

相はやまり候事、

一 九 九 頭 時 分 人 参 壹 分 五 リ 入 煎 薬 給 候 事、

一 夜 前 小 便 五 合 壹 勺 ほと、今日日中

三合八勺、

但、大便所三而通候由、

一 二 日、四ツ時分罷出見申候処、氣分夫ほと相勝、

四ツ過時分の寒此中強相見得、わた入衣并

袴四枚ほと相かさね候処、追而熱差発熱勢

輕有之、漸々やハラキ候得共、夜入迄ハ相応ニ相殘

氣分相勝不申候処、四ツ時分大便相応ニ而熱

うすく罷成、氣分も宜罷成候事、

一 高 宮 城 脈 膨 被 致 候 処、脈 体 ハ 昨 日 同 断

宜相通候事、

一 食 事 ハ 此 中 之 通 給 候 也、

一 小 便 ハ 昨 日 日 中 三 三 合 八 勺 相 通 通 じ

候処、今日ハ二合五勺相通、三合三勺ハ昨日の

少候事、

一 大便候様相見得候事

一 大便候様相見得候事、色合宜相見得、

一 煎薬人参壹分五リツ、入、四ツ過時分

一 袋、夜之五ツ過時分一袋相用候事、

一 三日、朝五ツ時分罷出、名城親雲上・高宮城筑登之親雲上も

被罷出、看脈被致候処、脈体大概一昨日

同様有之候得共、一昨日程者無之様相見得

候由、名城被申候、

但、名城存寄を以、たんれん六君子湯与云

配濟ニ相定候事、

一 今日ハ様体気分等昨日ハ、拔群相勝、四ツ

時分ハ寒有之由候処、昨日ハ餘ほと輕ク

有之、追々熱出候得共是又昨日ハ輕相見得、

氣分宜相通候事、

一 面手之腫氣相まし候得共、左程ハ相まし

不申候、

一 朝めし魚之塩煮かて物ニ而相応ニ給、日中之

食事も此中之通給候事、

一 大便寢入時分迄三度相通、かたまり候由、

一 小便日中二三合九勺相通し、色合宜相見得、

夜中二三合〇勺通候事、

一 腹合宜不滞、心地宜有之由、
 一朝五ツ時分、人参壹分五リ入煎薬相用候事、
 一七ツ過時分、右同断相用候事、
 一私事朝五ツ時分罷出、入相時分帰宅、
 一夜之五ツ時分俸供与那覇にや差遣申聞
 候者、高宮城筑登之親雲上被罷出晚脈被相伺候処、
 朝よりほと宜、自分も別而快有之由、
 いしやにも申候由、
 一四日、四ツ時分幸地江罷出見候処、別而氣分相勝
 面手之腫氣も余ほと引、様子も宜相見得
 候事、
 但、夜之四ツ半時分帰宅、
 一四ツ過時分寒共出来、追而熱差発
 候処、大概昨日之通夜之五ツ過時分相さめ
 候事、
 一此中朝ハ必塩煮之汁給候処、今日ハ自分
 好三而みそ煮ニ而給候由、夫故熱長引候事も
 可有之哉、明日ハ此中之通塩煮給候様
 可仕由、相談いたし候事、
 一熱者右通昨日同篇候処、左之かた之辺ニ
 又者むね差之辺ねはり候由三而、氣
 色不宜、且何歟給候時ハむねにかかり候様

一 腹合宜不滞、心地宜有之由、
 一朝五ツ時分、人参壹分五リ入煎薬相用候事、
 一七ツ過時分、右同断相用候事、
 一私事朝五ツ時分罷出、入相時分帰宅、
 一夜之五ツ時分俸供与那覇にや差遣申聞
 候者、高宮城筑登之親雲上被罷出晚脈被相伺候処、
 朝よりほと宜、自分も別而快有之由、
 いしやにも申候由、
 一四日、四ツ時分幸地江罷出見候処、別而氣分相勝
 面手之腫氣も余ほと引、様子も宜相見得
 候事、
 但、夜之四ツ半時分帰宅、
 一四ツ過時分寒共出来、追而熱差発
 候処、大概昨日之通夜之五ツ過時分相さめ
 候事、
 一此中朝ハ必塩煮之汁給候処、今日ハ自分
 好三而みそ煮ニ而給候由、夫故熱長引候事も
 可有之哉、明日ハ此中之通塩煮給候様
 可仕由、相談いたし候事、
 一熱者右通昨日同篇候処、左之かた之辺ニ
 又者むね差之辺ねはり候由三而、氣
 色不宜、且何歟給候時ハむねにかかり候様

有之由申候付、高宮城ニ其段相達看
脈いたし候処、脈体ハ最前之通相見得候由
申候付、親方・私ニ而痰めくらし候くすり
一袋調合被給度由相談いたし、くハろう
ききつたう与云くすり調合被致、則
相用候事、

一 五日、名城親雲上・高宮城筑登之親雲上五ツ時分被罷出
脈診被致、吟味之上熱さめ痰廻り候向之
配濟、六君子湯ニ加藥ニ而高宮城調合被給候、
但、人参壹分五リ相加、

一 氣分ハ此内無之程日中相勝候事、

一 此中八ツ前後之熱出候処、去二日より
四ツ過時分之熱差発、此中与ハ時刻相替候処、
今日ハ此前之通八ツ頭時分を寒出来不申

今日ハ此前之通八ツ頭時分を寒出来不申
直ニ差熱有之候処、別而輕有之、入相時分二者
少相残候程相さめ、時刻之達速出来、
もはや追日順快可仕与、いつれも喜悅
不斜候、

一 食事・咳嗽・腹之廻り吉、
一 小便日中二三合計、員数少相見得候、
一 大便四度之内二度相通し、昨日より少よろみ候由、
一 小便夜中六合ほと相通し候由、

御病候御由

一 昼時分咳嗽いたし痰仕候処、水に何歟浮候様相見得、員数も此中多分出候事、

一 母様、室・妹むたしや御列御出被成候処、段々御物かたり共いたし、母様別而御悦被成候事、

一 六日、朝之間用事有之、九ツ時分罷出見候処、気分ハ宜有之候得共むねにつかい氣有之、其上かわき有之由申候処、九ツ過時分熱差発候事、

一 一夜中之熱今朝迄相殘候様ニも有之、今夜得与相試候様、申談置候事、

但、夜中相試候処、夜更次第九醒有通之筋ニ而無之由、申出候、

御病候御由

一 朝飯ハ塩煮之汁ニめし、此中之通給候由、

一 煎薬二袋条人參此内之通相用候事、

一 腫氣漸々引候様相見得候事、

一 咳嗽ハ何ぞ繁無之候処、昨今ハたん仕候員数、此中多相重候事、

一 小便日中貳合六勺、夜中四合六勺計此中之通、

一 七日、今日弁才天構ニ付、五ツ頭前罷出參詣相濟、登城八ツ後高嶺御殿・浦添御殿參上御祝詞申上、直幸地江罷出候処、御參詣御帰城

一 小便回数多し
 一 食事中、嘔吐あり
 一 大便もかたまり候由
 一 小便日中、
 一 今、朝、腹痛、嘔吐候、
 一 八日、私事今朝、腹合不、
 一 七ツ時分罷出候処、
 一 諸事昨日同断宜有之由、
 一 輕有之候得共、
 一 不相勝、
 一 一食事、
 一 大便もかたまり候由、
 一 小便日中、
 一 今、朝、腹痛、嘔吐候、
 一 八日、私事今朝、腹合不、
 一 七ツ時分罷出候処、
 一 諸事昨日同断宜有之由、
 一 輕有之候得共、
 一 不相勝、
 一 一食事、
 一 大便もかたまり候由、
 一 小便日中、
 一 今、朝、腹痛、嘔吐候、
 一 八日、私事今朝、腹合不、
 一 七ツ時分罷出候処、
 一 諸事昨日同断宜有之由、
 一 輕有之候得共、
 一 不相勝、
 一 一食事、
 一 大便もかたまり候由、
 一 小便日中、

拜候とて座江罷出候折三而、得与見申候処、別而
 氣分相勝り折節熱も最中之由候処輕有之、
 此三日中二者氣分別而漸々引候様、相見得候事、

一 食事此中之通、

一 小便宜相通し候由、

但、三合五勺計、

一 今朝名城親雲上・高宮城里之子親雲上被罷出脈診
 被致候処、脈体別而宜有之由、尤配済も一昨

五日之通調合いたし候由、

一 北京人參相用度由、医者申出、卯年渡之

等々老勿所望相達候処、今日ハ相用不申候、

一 今日格別 扁快体ニ相見得候付、夜入候而

焼酎并重一組持參ニ而相祝候事、

一 八日、私事今朝、腹合不、氣色有之、

七ツ時分罷出候処、折節座ニ罷出逢申候処、

諸事昨日同断宜有之由、九ツ時分熱出、

輕有之候得共、さめかね申候哉、晚方ハ氣分

不相勝、昨日程者相用不申候、

一 一食事・咳嗽・腫氣等も昨日同断宜相見得

候事、

一 大便もかたまり候由、

一 小便日中、

一 煎藥此内之通条人参一分五リも入、朝晩
相用候事、

一 昨日所望いたし候北京一匁、阿波根里之子親雲上
晩方もたせ候事、

一 一夜之五ツ時分もはや熱相さめ候由、悴る
松田にや差遣承置候事、

一 九日、今日五ツ時分致登 城、八ツ頭時分退 城
いたし候処、小禄親雲上・石原親雲上御用ニ被罷出、

七ツ時分幸地江罷出様体承候処、今朝熱
差発、気分も相勝不申由、

一名城・高宮城四ツ時分被罷出、診脈被致候処、
今日^(之カ)熱ハ此前ニ相替外邪与相見得候由ニ而、

八解湯与申前済調合被到候由、
但、此くすりの北京人参一分五リ相加、

晩者二番せんし三而相用候相談之由、
一大便二度、昼時分ハ相用よるみ候由、

一夜中小便四合三勺、
一日中同三合二勺、

一夜之四時分見申候処、熱勢ハよわく有之
候得共、此中与相替さめかね候様相見得、

咳嗽も繁ク有之由、自分申候事、
一 朝飯ハ早晚之通魚之塩煮かて物ニ而、

一 煎藥此内之通条人参一分五リも入、朝晩
相用候事、

一 昨日所望いたし候北京一匁、阿波根里之子親雲上
晩方もたせ候事、

一 一夜之五ツ時分もはや熱相さめ候由、悴る
松田にや差遣承置候事、

一 九日、今日五ツ時分致登 城、八ツ頭時分退 城
いたし候処、小禄親雲上・石原親雲上御用ニ被罷出、

一 昨日、通相違不申、員数も少候由、夜飯者

塩煮かて物ニ而給候処、此中ハ少候由、

一夜前五ツ時分、悴より松田にやを以申聞候者、

もはや熱相さめ候由候処、今日之模様にて而者

熱内ニ込候而外ハ相醒候様有之たる積与

吟味仕候、

一 腫氣者相増候様二者相見得不申候、

一夜之九ツ時分歸宅仕居候処、九ツ半時分

次男幸地里之子親雲上ノ供与那覇にや差遣、

もはや熱相さめ小便も二合程相通し、

得与寝候由承候事、

一 十日、早朝野原にや差遣安否相尋候処、次男幸地、

悴兩人ニ而返答之趣者、夜前与那覇にや差遣候

以後相試候処、熱寸切与相さめ咳嗽も余ほと間遠

相成、七ツ時分目さめ候而糝一碗給、只今迄寝候由、

一夜中小便も四合五勺、

一日中同二合計、

一 四ツ頭時分罷出、則内江罷通見申候処、

氣分相勝面手之腫氣も引、はらハめぐり

候而快有之由、

一 酉半時分猶又罷出候処、発熱以後氣分快

有之由ニ而逢不申、夜之九ツ前罷歸候事、

一 腫氣者相増候様二者相見得不申候、
一夜之九ツ時分歸宅仕居候処、九ツ半時分
次男幸地里之子親雲上ノ供与那覇にや差遣、
もはや熱相さめ小便も二合程相通し、
得与寝候由承候事、

一 十日、早朝野原にや差遣安否相尋候処、次男幸地、

悴兩人ニ而返答之趣者、夜前与那覇にや差遣候

以後相試候処、熱寸切与相さめ咳嗽も余ほと間遠

相成、七ツ時分目さめ候而糝一碗給、只今迄寝候由、

一夜中小便も四合五勺、

一日中同二合計、

一 四ツ頭時分罷出、則内江罷通見申候処、

氣分相勝面手之腫氣も引、はらハめぐり

候而快有之由、

一 酉半時分猶又罷出候処、発熱以後氣分快

有之由ニ而逢不申、夜之九ツ前罷歸候事、

一 昨日者食事不進有之候処、今日ハ此中

之通給候由、且此程朝めし之時魚塩煮之汁

進候而給候処、昨今者あき、二而給不申候、

一 九ツ頭時分る熱差発候処、昨日る輕有之、

夜之五ツ半二者寸切与相さめ候、時刻

相糺候処、昨九日るハ昼五ツ時分る熱勢

いたし、夜之九ツ半時分相さめ、八時半程

熱持通候処、今日ハ昼九ツ時分る發熱

いたし、夜之五ツ半二者寸切与相さめ、

四ツ時半二者相さめ候事、

但、昨九日る四ツ時程はやくさめ候也、

一 十一日、早朝小浜にや差遣様体相尋させ候処、

夜中熱出不申、咳嗽無之、得与寝候而いまた

起あかり不申由、

一 九ツ過時分退城直罷出候処、ねもり相付

候由三而逢不申、親方江様体御尋申候処、

惣体昨日同断気分も宜由被仰聞、

桑江親雲上宅年回二付直罷出、致帰宅

候事、

一 夜入五ツ前猶又罷出、四ツ時分見候而様体

自分江も相尋候処、右かた之辺殊之外

痰ねはりむねつかい、咳嗽も繁有之、

一 昨日者食事不進有之候処、今日ハ此中

之通給候由、且此程朝めし之時魚塩煮之汁

進候而給候処、昨今者あき、二而給不申候、

一 九ツ頭時分る熱差発候処、昨日る輕有之、

夜之五ツ半二者寸切与相さめ候、時刻

相糺候処、昨九日るハ昼五ツ時分る熱勢

いたし、夜之九ツ半時分相さめ、八時半程

熱持通候処、今日ハ昼九ツ時分る發熱

いたし、夜之五ツ半二者寸切与相さめ、

四ツ時半二者相さめ候事、

但、昨九日る四ツ時程はやくさめ候也、

一 十一日、早朝小浜にや差遣様体相尋させ候処、

夜中熱出不申、咳嗽無之、得与寝候而いまた

起あかり不申由、

一 九ツ過時分退城直罷出候処、ねもり相付

候由三而逢不申、親方江様体御尋申候処、

惣体昨日同断気分も宜由被仰聞、

桑江親雲上宅年回二付直罷出、致帰宅

候事、

一 夜入五ツ前猶又罷出、四ツ時分見候而様体

自分江も相尋候処、右かた之辺殊之外

痰ねはりむねつかい、咳嗽も繁有之、

一 昨日者食事不進有之候処、今日ハ此中

之通給候由、且此程朝めし之時魚塩煮之汁

進候而給候処、昨今者あき、二而給不申候、

一 九ツ頭時分る熱差発候処、昨日る輕有之、

夜之五ツ半二者寸切与相さめ候、時刻

相糺候処、昨九日るハ昼五ツ時分る熱勢

いたし、夜之九ツ半時分相さめ、八時半程

熱持通候処、今日ハ昼九ツ時分る發熱

いたし、夜之五ツ半二者寸切与相さめ、

四ツ時半二者相さめ候事、

但、昨九日る四ツ時程はやくさめ候也、

一 十一日、早朝小浜にや差遣様体相尋させ候処、

難儀之体御座候由

一昨九日漸々痰出多有之候処、今日者

小水こふし二ツ半ばかりも吐候由、

一熱八九ツ過時分差発候処、軽有之漸々

相さめ、四ツ過時分私見候時小々相残候、

一食事ハ此中之通進無之候処、員数ハ

夫おとり不申由、

一名城親雲上朝晩相催候処、不快之由二而不被

罷出候、

一高宮城筑登之親雲上診脈被致、一昨日之配濟二而

調合被致候由、

一煎薬北京人參入、朝晩給候事、

一日中小便二合程通し候由、

一夜中同、

一十二日、早朝野原にや差遣安否相尋させ候処、

夜前夜更次第熱相さめ、咳嗽も快得与

寝候由、

但、痰仕候も少候由、

一四ツ頭時分罷出、則内江罷通見候処、

気分相勝腫氣も引取、腰はら之辺腫氣も

もはや引候由、自分申候、乍然右かた之

辺痰ねはりむね之つかい未快無之候間、

難儀之体御座候由

一昨九日漸々痰出多有之候処、今日者

小水こふし二ツ半ばかりも吐候由、

一熱八九ツ過時分差発候処、軽有之漸々

相さめ、四ツ過時分私見候時小々相残候、

一食事ハ此中之通進無之候処、員数ハ

夫おとり不申由、

一名城親雲上朝晩相催候処、不快之由二而不被

罷出候、

一高宮城筑登之親雲上診脈被致、一昨日之配濟二而

調合被致候由、

一煎薬北京人參入、朝晩給候事、

一日中小便二合程通し候由、

一夜中同、

一十二日、早朝野原にや差遣安否相尋させ候処、

夜前夜更次第熱相さめ、咳嗽も快得与

寝候由、

但、痰仕候も少候由、

一四ツ頭時分罷出、則内江罷通見候処、

気分相勝腫氣も引取、腰はら之辺腫氣も

もはや引候由、自分申候、乍然右かた之

辺痰ねはりむね之つかい未快無之候間、

痰めくらし候配済相談いたし度由、
自分承申候、

一名城親雲上・高宮城筑登之親雲上四ツ過時分
被罷出、診脈被致候処、脈も宜此中る
性付候処相見得候由、兩人共被申候

一 配済吟味被致候処、去九日相立候八解湯与
申配済、致相応候得共痰めくり兼、尤

一 咄茂多候間、朝者弥八解相用、晚ハ爪萋
枳実湯可然由、相談被相決候事、

但、枳実湯者人参入不申由、朝之くすり〔以下文なし〕

一 此三日者痰出多、就中昨日者二合五勺
多吐候付而、是又病証之变化ニ而ハ有之
間敷哉与甚及世話候処、到今日二者諸篇
快罷成、喜悅之至候、

一 朝・昼間ハ食事此中之通給候処、夜めしハ
不進ニ而、此中之半分程給候由、

一 小便日中三合二勺、夜中貳合五勺、
一昨日ハ痰小水こふし二ツ程吐候処、水今日ハこふし
九分程出候由、

一 四ツ過時分本人参入候八解与申くすり
相用候処、何様之障ニ而候哉、追付吐出候由、

一 痰めくらし候配済相談いたし度由、
自分承申候、

一名城親雲上・高宮城筑登之親雲上四ツ過時分
被罷出、診脈被致候処、脈も宜此中る
性付候処相見得候由、兩人共被申候

一 配済吟味被致候処、去九日相立候八解湯与
申配済、致相応候得共痰めくり兼、尤

一 咄茂多候間、朝者弥八解相用、晚ハ爪萋
枳実湯可然由、相談被相決候事、

但、枳実湯者人参入不申由、朝之くすり〔以下文なし〕

二はんせんし半分程相用候処、是又吐出候由

一咳嗽も繁為有之由、

一私事晩方も見廻可申候処、御用しらへ物

有之、尤気分も宜由候間、罷出不申候、

一十三日、早朝悴罷帰申聞候者、妻事昨日昼

時分咳嗽繁煎共仕出^(吐カ)気分相勝不申

候得共、夜入候而者咳嗽も相止、得与寝申候、乍然

昨日ハ両度共吐出候付而、存寄候者爪蕪枳実

はん方相用候筋御相談候得共、昼時分咳嗽

繁罷出候間、右くすりハ早々相用ハ解湯者

晩方相用候方可然存候付、何れも相談いたし候処、

同意之由候付、親方江も右之段申上候処、相談之通ニも

可仕候得共、高宮城江も申談候而可相決由

被仰聞、永村里之子を以申談、高宮城致相談

させ候処、弥同意之由申来候由、

一枳実湯相用、二番せんしも相用候処、

相応いたし候哉、昨日咳嗽少気分も

多給候由、

一大便ハ四ツ時分迄四度いたし候処、何そよろミハ

無之候得共、少々泡出何歎ふくめき候様

相見得候由、次男幸地里之子親雲上申出候、

一八ツ時分熱出、夜之五ツ半頃ニハ寸切与

一八ツ時分熱出、夜之五ツ半頃ニハ寸切与

一咳嗽も繁為有之由、
一私事晩方も見廻可申候処、御用しらへ物
有之、尤気分も宜由候間、罷出不申候、
一十三日、早朝悴罷帰申聞候者、妻事昨日昼
時分咳嗽繁煎共仕出^(吐カ)気分相勝不申
候得共、夜入候而者咳嗽も相止、得与寝申候、乍然
昨日ハ両度共吐出候付而、存寄候者爪蕪枳実
はん方相用候筋御相談候得共、昼時分咳嗽
繁罷出候間、右くすりハ早々相用ハ解湯者
晩方相用候方可然存候付、何れも相談いたし候処、
同意之由候付、親方江も右之段申上候処、相談之通ニも
可仕候得共、高宮城江も申談候而可相決由
被仰聞、永村里之子を以申談、高宮城致相談
させ候処、弥同意之由申来候由、
一枳実湯相用、二番せんしも相用候処、
相応いたし候哉、昨日咳嗽少気分も
多給候由、
一大便ハ四ツ時分迄四度いたし候処、何そよろミハ
無之候得共、少々泡出何歎ふくめき候様
相見得候由、次男幸地里之子親雲上申出候、
一八ツ時分熱出、夜之五ツ半頃ニハ寸切与

赤白痢疾之症、脈之弱、脈之脈之

熱相殘候由、

私事八ツ時分退、城いたし、七ツ時分罷出

見候処、熱相心ニ相残り、面・右之手迄

時日少々腫氣相まし候事、

一むねにつかい候間、月見かてらに加籠ニ

よりれ道打いたし度由頻ニ申出、

夜中別而如何ニ存候得共、押而差止候而ハ

別而機嫌不宜模様ニ相見得候付、高宮城

相談之上段々用意させ、夜之四ツ時分

道打いたし候事、

一小便

一道打ニ而罷帰候付早速申候処、別而気分

宜何之障も無之候間、夜之九ツ前帰宅

いたし候事、

一十四日、早朝野原にや差遣安否相尋させ候処、

次男幸地里之子親雲上を返答之趣ハ、夜前、私帰宅

以後些咳嗽繁く罷成、目さめニ而寝不申候処、

夜半時分はらすき申由ニ而糝相望、一飯給候而

得与寝候由、

一私事用事有之、西頭時分罷出、親方江今日之

様体御尋申候処、八ツ時分いしや兩人被罷出、

診脈被致候処、一昨日も脈体宜、右脉此中

別而脾も立候様相見得候由、

一昨日者右かた之辺痰滞、はらもつかい候而

難儀之体相見得候処、うんれんかうしや

六君子湯相用候時分、別而腹廻り候由相見得

候而、右配濟相用候而者如何之由、親方并□□

高宮城江相談いたし候処、弥同意ニ而今朝、

右配濟相用、名城江右之段高宮城より

相談被致候処、当分之病体ニ者毎日差発候

熱早々相治不申候而不叶事候へハ、此内之

配脈八解相用候方些驗有之積与被申、

高宮城も同意ニ而右調合被給候、

一昨今日者食事も相応ニ給候也、

一小便夜中四合八勺相通し候、

一煎薬去九日夕今日迄、北京人參一分

五勺入相用候事、

一十五日、八ツ時分退 城、七ツ過時分罷出見申候処、

時分熱差発輕有之候得共、朝々胸につかい有之、

咳嗽も繁く気分不相勝、加籠ニもたれ歩行

いたし候ハ、つかいもめくり気分も宜罷成可申候間、

通罷出申度由、自分申出候付、月もよく

風も静ニ有之候間、親方相談之上致許容、

診脈被致候処、一昨日も脈体宜、右脉此中

別而脾も立候様相見得候由、

一昨日者右かた之辺痰滞、はらもつかい候而

難儀之体相見得候処、うんれんかうしや

六君子湯相用候時分、別而腹廻り候由相見得

候而、右配濟相用候而者如何之由、親方并□□

高宮城江相談いたし候処、弥同意ニ而今朝、

右配濟相用、名城江右之段高宮城より

相談被致候処、当分之病体ニ者毎日差発候

熱早々相治不申候而不叶事候へハ、此内之

配脈八解相用候方些驗有之積与被申、

高宮城も同意ニ而右調合被給候、

一昨今日者食事も相応ニ給候也、

一小便夜中四合八勺相通し候、

一煎薬去九日夕今日迄、北京人參一分

五勺入相用候事、

一十五日、八ツ時分退 城、七ツ過時分罷出見申候処、

時分熱差発輕有之候得共、朝々胸につかい有之、

六ツ過時分いつれも列立罷出、前之道を平之
辻江罷出、読谷山御殿之側・識名之前罷通、
帰宅いたし候而、はらめくり気分も宜罷成
候事、

一 小便日中三合三勺、
一 小鳥望ニ付から鳩一・ひよとり相求

差遣候処、今日朝めしかて物ニ而給候処、
別而氣ニ相叶候事、

十六日、唐船すら卸ニ付、夜前七ツ時分那覇江
罷下勤方相仕舞、八ツ頭前帰宅仕居候処、
幸地を悴罷帰奉候者、今日ハ氣分宜咳嗽・(腹カ)も
めくり別而快、保養之ため石嶺やしきニ差越
度由申出、追而出立申答候由、

一 此内者朝八解湯、晚爪羹枳実相用
候処、今日ハ朝枳実湯相用、夫故咳嗽・
はら之めくり快候半与存候由、

一 補くすり相用候へハ、咳嗽相まし腹も
滞申様相見得候由、悴申候付、左候ハ、
医者江も得与相談可仕由申達候事、

一 七ツ頭時分、石嶺やしきニ罷越、幸地親方も
御出、婦様体見申候処、気分宜熱も最中之
時分二者別而輕

一 幸地親方も御出、婦様体見申候処、気分宜熱も最中之
時分二者別而輕

有之候事
但、酉時分ニ者幸地野やしきニ罷越候事、

有之候事、
但、酉時分ニ者幸地野やしきニ罷越候事、